おぼえがき

お買い上げ日	年　　月　　日
販売店名	
	電話番号

●記入しておくと修理などの依頼のときに便利です。

愛情点検



長年ご使用の機器の点検を！

こんな症状はありませんか?

- ●お湯の出が悪い。
- ●お湯が早くなくなる。
- ●逃し弁から昼間、常にお湯が出る。
- ●ときどき漏電遮断器が働く。
- ●その他の異常や故障がある。

お願い

このような症状の場合は使用を中止し、故障や事故防止のため技術者による保守点検を受けていただくことをお奨めします。
詳しくは販売店にご相談ください。

住宅設備機器総合メーカー CHOFU 長府製作所

●本社 ―――― 山口県下関市長府扇町2-1

●お問い合わせ先

本社・営業部	〒752-8555	下関市長府扇町2-1	☎(0832)48-1111 FAX(0832)48-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛岡営業所	〒020-0122	盛岡市みたけ5-15-50	☎(019)641-0811
仙台営業所	〒980-0012	仙台市青葉区錦町1-4-6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大宮営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東京営業所	〒187-0032	小平市小川町2-1128-3	☎(042)347-3111
横浜営業所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千葉営業所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金沢営業所	〒921-8550	金沢市玉鉾4-17	☎(076)292-3111
滋賀工場・営業部	〒520-2394	野洲市野洲1473-1	☎(077)588-4111
大阪支店	〒564-0053	吹田市江の木町18-27	☎(06)6338-7111
香川営業所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡山営業所	〒700-0976	岡山市辰巳3-111	☎(086)245-1111
広島営業所	〒732-0811	広島市南区段原1-1-1	☎(082)261-5111
福岡営業所	〒812-0063	福岡市東区原田4-2-7	☎(092)629-5111
沖縄営業所	〒901-2101	浦添市西原3-18-10	☎(098)877-3111

PRINTED WITH SOY INK

この印刷物は再生紙と天然成分で作られた有害物質の少ない大豆油インキを使用しております。

CHOFU

自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機〔エコキュート〕

取扱説明書

[一般地仕様]

形名 EHP-3732GPXH
EHP-3742GPXH
EHP-4642GPXH

[耐重塩害仕様]

EHP-3732GPXHE2
EHP-3742GPXHE2

	貯湯ユニット形名	ヒートポンプユニット形名
EHP-3732GPXH	ET-3732GPXH	EHPE-454
EHP-3742GPXH	ET-3742GPXH	EHPE-454
EHP-4642GPXH	ET-4642GPXH	EHPE-561
EHP-3732GPXHE2	ET-3732GPXHE2	EHPE-454E2
EHP-3742GPXHE2	ET-3742GPXHE2	EHPE-454E2

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして まことにありがとうございます。

●このヒートポンプ給湯機は電気料金の割引が適用されます。お買い求めの販売店にご相談のうえ、お早めに最寄りの電力会社にお申し出ください。

- ●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- ●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- ●取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- ●電力会社により昼夜間の時間帯区分が異なりますので、詳しい内容については最寄りの電力会社にお問い合わせください。
- ●エコキュートの名称は電力会社・販売メーカーが推奨する自然冷媒ヒートポンプ給湯機の愛称です。
- ●製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ●耐重塩害仕様は、一般地域より腐食、劣化しやすい海浜地区などに設置するため、ヒートポンプユニットに錆びにくい材料を使用したり、多重塗りをしています。

20430691 (K)

もくじ

ページ

ご使用の前に

- 特　長……1
- 特に注意していただきたいこと……3
- 各部のなまえとはたらき
  - 外観図……9
  - 構造図……10
  - メインリモコン……13
  - ふろリモコン……15
  - サブリモコン……17
  - モード設定について……18
- 使用前の準備
  - 契約電力制度を選ぶ……19
  - 運転前の準備……21
  - 現在時刻の設定……22

運転のしかた

- 使用方法
  - 沸き上げモードの設定……23
  - 昼間沸き上げ運転……25
  - 沸き上げを開始する残湯量の設定……26
  - 残湯量のめやす……28
  - 沸き増し運転……28
  - 給　湯……29
  - 数日間運転を停止する方法……30
  - ふろ自動運転……31
  - 保温時間の設定……33
  - オプション設定……34
  - ふろ予約運転……35
  - 高温たし湯運転……36
  - たし湯運転……37
  - たし水運転……37
  - 追いだき運転……38
  - 配管洗浄……39
  - 表示部の明るさ設定……41
  - 表示部のコントラスト設定……43
  - 表示モード設定について……44
  - 表示モード設定……45
  - ガイド音量設定……47
  - インターホンの使いかた……48
  - インターホンの通話音量設定……49
  - インターホンの通話方式について……50
  - インターホンの通話方式設定……51
  - インターホンの通話終了時間設定……52
  - 音声一覧……53
  - 使用上の注意……55
  - 停電したとき……55
  - 地震などの被害があったとき……55
  - 長期間使用しない場合……56
  - 災害時などにお湯を取り出す……59
  - 凍結予防……60
- 安全装置……60

上手に使こなそね

- 日常の点検・手入れ……61
- 定期点検……63

故障かな?

- 故障・異常の見分けかたと処置方法
  - サービスを依頼される前に……63
  - エラーコード(警報)表示……65
- 部品交換について……66
- 仕　様……67
- アフターサービス……69
- 設置工事後の確認と試運転
  - 設置工事後の確認……70
  - 試運転……70

特　長

エコキュートとは

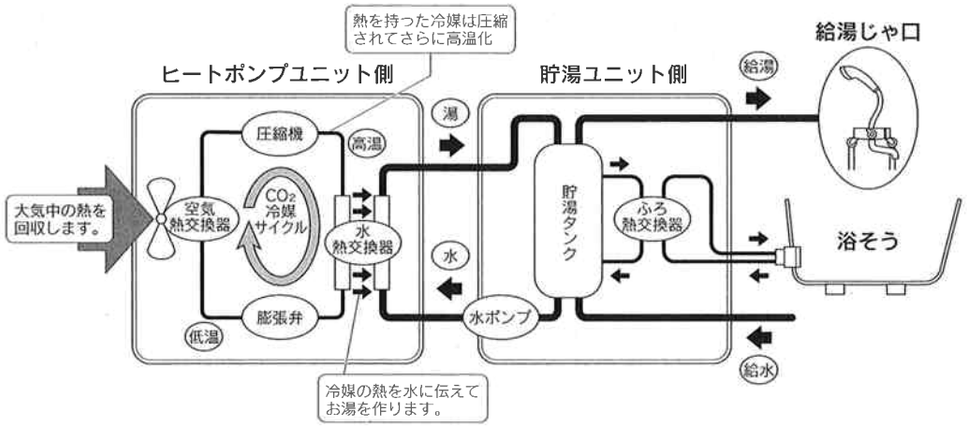
環境にやさしく(エコロジー)省エネ(エコノミー)でキュートな次世代給湯機です。

1 地球環境にやさしい自然冷媒(CO_2)を使用しています。

●オゾン層破壊係数はゼロです。(破壊しません。)
●地球温暖化係数は従来冷媒の約 1/1700 です。

2 省エネ性に優れたヒートポンプ方式

●大気中の熱を回収してお湯をつくるヒートポンプ方式です。
●圧縮機により電気を効率よく利用するので、従来の電気温水器よりお得です。



●年間平均 COP(注 1)3.0 以上という高い省エネ性能。
(注 1)COP とはエネルギー消費効率を表したもので、この値が高いほど効率がよいものです。
COP ＝能力(kW)÷消費電力(kW)
●時間帯別電灯 / 季節別時間帯別電灯契約をすることで割安な夜間にお湯を沸き上げ、昼間使用する分も貯湯しておきます。

3 火を使わない安全設計

●火を使わず電気でお湯を沸かします。
●電気ヒータなしで最高 90℃のお湯を沸かせます。

運転のしくみ

(1)夜間時間帯になると給水温度、設定温度などにより、マイコンが所要通電時間を算出します。
(2)所定の時間になるとヒートポンプユニットへ通電を開始します。

簡単で安心して使える便利な充実機能を満載

●**給湯圧力アップ(高圧力型)**
高い水圧で快適なシャワー。シャワー圧力アップで強いシャワーが楽しめます。
●**おまかせ運転**
日々のお湯の使用量に合わせて、沸き上げ量を自動的に調節します。
工場出荷時は「**おまかせ運転**」に設定しています。 23 ページ
●**給湯温度簡単設定**
じゃ口を開くだけで、あらかじめ設定したお好みの温度のお湯が出ます。 29 ページ
●**お湯がたっぷり**
沸かしたお湯をタンクの上方から貯える方式により、お湯をたっぷり使用できます。
●**ふろ自動運転**
リモコンの操作で浴そうに自動お湯はり・自動保温ができます。 31・32 ページ
●**追いだき運転**
最高約 48℃まで沸き上げが可能です。 38 ページ
●**万一のときの非常用水**
災害時など断水のときは、貯湯ユニットの水(湯)を生活用水として使用できます。 59 ページ
●**インターホンリモコン**
メインリモコンとふろリモコンで通話ができます。 48・49 ページ
●**お得な光熱費**
ヒートポンプ方式により給湯ランニングコストは、従来の電気温水器よりお得です。
●**見やすいリモコン**
リモコンは液晶バックライト方式により、表示部が見やすくなりました。
●**環境への心配り**
オゾン層を破壊するフロンは使用していません。
電気なので温室効果の原因になる二酸化炭素の排出も抑制します。

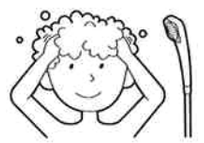
お湯の上手な使いかた

■「おまかせ運転」をおすすめします。 23 ページ

●工場出荷時は「**おまかせ運転**」に設定しています。
●「**おまかせ運転**」とは、それぞれの家庭の状況に応じて、お湯の使用量を学習し最適な沸き上げを行うことです。
(設置当初は日中も沸き上げを行いますが、学習後は使用状況に応じて運転します。)
●より節約をしたい場合は、沸き上げモードを「**標準**」または「**少なめ**」に設定してください。
(ただし、沸き上げモードは固定となります。)
●設置当日やお湯を多量に使用するときは、沸き上げモードを「**連続**」にしてください。
(24 時間経過したら、「**連続**」にする前の沸き上げモードに戻ります。) 24 ページ

■ 1 日に使用できる湯量は限られていますので、お湯は大切に使用してください。

●シャワーを使うときや、洗いものをするときなどは、お湯をこまめに止めてください。
お湯を出したままにすると湯切れの原因になります。
●入浴はできるだけ沸き上げ時間帯を避けてすませるようにしてください。
沸き上げ時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなることがあります。
●お湯が冷めにくいように入浴後は必ずふたをしてください。



特に注意していただきたいこと

●ご使用の前に、この「**特に注意していただきたいこと**」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

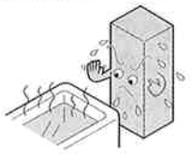
●絵表示について次のような意味があります。

⃠	一般的な禁止	⏚	アースを接続すること		接触禁止
⚠	一般的な危険・警告・注意	⃠	分解禁止		高温注意
❗	必ず行うこと		感電注意		

⚠危険(DANGER)

浴室内の設置禁止（感電・事故の原因）

禁止



貯湯ユニットは屋内・屋外どちらでも設置できますが、浴室内には設置しないでください。

⚠警告(WARNING)

高温注意



高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは、手で湯温を確かめてください。また給湯じゃ口を開くと、熱湯が吹き出ることがあります。
やけどに注意してください。

接触禁止



使用中は高温部に手など触れないでください。
やけどをすることがあります。

給湯時は混合水栓に手を触れない



接触禁止

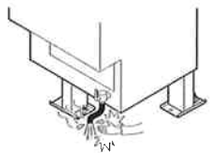
お湯を出しているときに混合水栓に触れると、やけどをすることがあります。

電源は単相 200V を使用する（火災・事故の原因）

確認

電源は単相 200V で、専用回路が必要です。配線用遮断器(ブレーカ)、電線の太さなどは機器にあったものを使用してください。

排水時は配管や排水に手を触れない



禁止

熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

⚠警告(WARNING)

周囲の確認（火災の原因）

確認



近くに灯油、ガス、ガソリンなど引火性のものを置かないでください。

漏電遮断器の確認

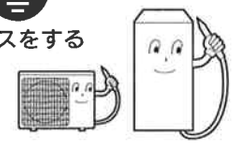
確認



漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。「**日常の点検・手入れ**」に従って作動テストを行ってください。
61 ページ

アースの確認（感電の原因）

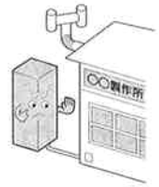
アースをする



この機器はアースが必要です。
アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

家庭用以外の使用禁止

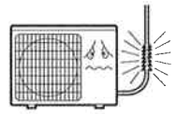
禁止



この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用すると保証の対象外になります。

電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない

禁止



重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、破損して感電・火災の原因になります。

ヒートポンプユニットのフィンに触れたり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

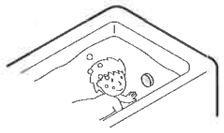
禁止



ファンが高速で回転していますので、けがの原因になります。

子どもに注意

禁止



循環口付近でもぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。
思わぬ事故の原因になります。

高温たし湯運転をするときは、循環口から離れる

高温注意



循環口から熱いお湯が出ますので、やけどをすることがあります。

浴そうにお湯がないときは高温たし湯スイッチを押さない

禁止

循環口から熱いお湯が出ますので、やけどをすることがあります。浴そうや循環口のお手入れを行うときは、特に注意してください。

修理技術者以外は前パネルをはずさない

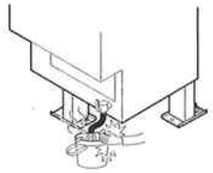
禁止



感電のおそれがあります。

取水はお湯が冷めてから行う

禁止



熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

逃し弁のレバーが熱くなります



高温注意

逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。また、レバーを急に上げると熱湯が出ることがありますので、ゆっくり操作してください。

給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行う

確認

突然熱湯が出てやけどをすることがあります。

異常(こげ臭いなど)時は、200V 電源ブレーカを「切」にし、お買い求めの販売店にご連絡ください。

励行

異常のまま使用すると故障や感電・火災の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠注意(CAUTION)

逃し弁の確認



確認

逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。
「**日常の点検・手入れ**」に従って作動テストを行ってください。

62 ページ

分解・修理・改造をしない

（感電・漏電・火災の原因）

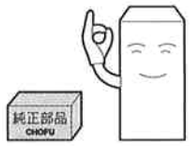


分解禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

純正部品以外は使用しない

（事故・故障の原因）



励行

部品は必ず**長府自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機純正部品(指定された部品)**を使用してください。

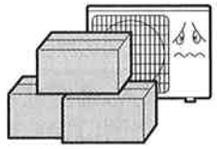
ヒートポンプユニットに乗ったり、ものをのせたり配管に力を加えない



禁止

落下・転倒などによりけがや、やけどの原因になることがあります。

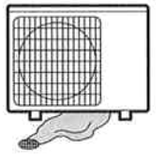
ヒートポンプユニットの吸込口や吹出口をふさがない



禁止

能力低下や故障の原因になることがあります。

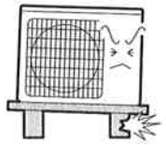
ヒートポンプユニットの真下に濡れて困るものを置かない



禁止

ドレン水が出ます。

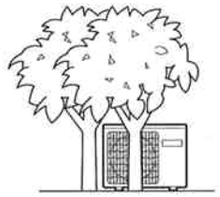
ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない



禁止

傷んだ状態で放置するとヒートポンプユニットの落下につながりけがの原因になります。

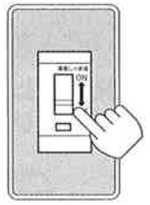
動植物に直接風を当てない



禁止

動植物に悪影響をおよぼす原因になります。

点検・手入れのときは漏電遮断器のレバーを「OFF」にする



励行

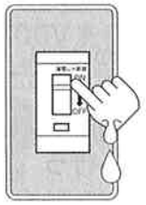
安全装置が作動したときは

励行

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。
火災・事故の原因になります。

60 ページ

濡れた手危険



感電注意

漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。
感電のおそれがあり、危険です。

操作部･点検口のふたは閉じる

（ショート・感電・漏電の原因）

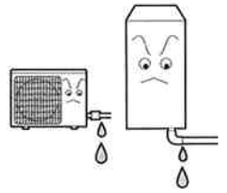


励行

操作部・点検口のふたは開いたままにしないで、操作・点検の後は必ず閉じてください。

⚠注意(CAUTION)

水漏れの点検

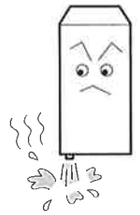


確認

機器や配管から水漏れがないことを点検してください。
事故の原因になります。

熱湯の排水禁止

（やけどの原因）

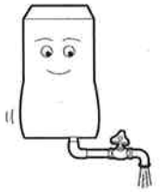


禁止

熱湯は冷めてから排水してください。

空だきに注意

（火災・過熱の原因）



励行

水が入っていないときに漏電遮断器のレバーを「ON」にしないでください。必ず給湯じゃ口から水が出ることを確認してください。

防水処理・排水処理の確認

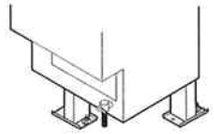


確認

貯湯ユニットを屋内に設置する場合は、床面が防水処理・排水処理されていることを確認してください。処理されていないと水漏れが起きた場合に大きな被害の原因になります。

貯湯ユニットの固定確認

（事故の原因）



確認

貯湯ユニットがアンカーボルトで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。

用途に注意



励行

家庭の給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

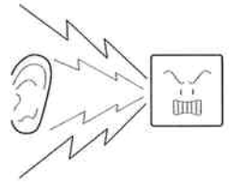
貯湯ユニットの上に乗ったり、配管に力を加えない



禁止

貯湯ユニットの上に乗ったり、配管をゆらしたりしないでください。貯湯ユニットが倒れたり、配管が破損したりして事故の原因になります。

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない



禁止

大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

水質の確認

確認

水は水道法に規定された水質基準に適合した水を使用してください。井戸水や温泉水を使用すると、水漏れ・故障の原因になります。

ヒートポンプユニットは屋内に設置しない

禁止

正常に沸き上がらないことがあります。

井戸水は使用しない

禁止

ヒートポンプユニットの熱交換器にスケールが付着し、正常に沸き上がらなくなることがあります。

契約電力制度の設定を変更しない

禁止

適用電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

特に注意していただきたいこと

⚠注意(CAUTION)

1カ月以上使用しないときは機器の水抜きを行う

励行

長期間使用しないと、水質が変化することがあります。

56～58ページ

冬期で凍結のおそれのある時期は停止日数設定をしない

禁止

急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。

30・31ページ

配管の保温工事を確認する
（故障の原因）



注意

冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。

60ページ

水抜きをしない場合、冬期は漏電遮断器のレバーを「OFF」にしない
（故障の原因）



注意

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

お願い(NOTICE)

湯切れについて



励行

シャワーを使うときや、洗いものをするときなどは、お湯をこまめに止めてください。
お湯を出したままにすると湯切れの原因になります。

循環口をふさがない
（故障の原因）



禁止

浴そうの循環口を手や足、タオルなどでふさがないでください。

循環口フィルタは必ずつける



励行

循環口フィルタをはずして使用しないでください。循環ポンプに髪の毛やゴミが詰まり故障の原因になります。

循環口フィルタの詰まりに注意（故障の原因）



禁止

浴そうにミカンやレモン等を浮かべて使用しないでください。
またポプリ等をご使用の場合は、袋などに入れて使用してください。

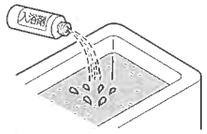
空だき注意（故障の原因）



確認

追いだきをするときには循環口から**約 10cm 以上**の水位を保ってください。

水質・入浴剤に注意



禁止

温泉水や、イオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤、洗剤は本体や配管、循環ポンプの腐食等の原因になりますので使用しないでください。

お願い(NOTICE)

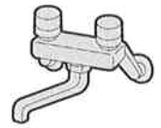
石けんの使用禁止



禁止

浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

混合水栓について



励行

水栓は逆止弁付混合水栓で通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



特に浴室ではやけど防止のため、サーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)を使用してください。リモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。

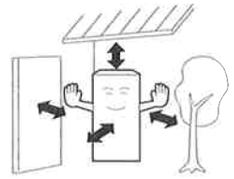
リモコンに水をかけない



注意

リモコンに水をかけないでください。マイクやスピーカーの穴に水がはいり、マイクの感度が落ちたり、スピーカーの音が聞こえにくくなったり、故障の原因になります。

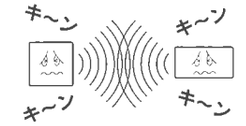
サービススペースの確保



確認

機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

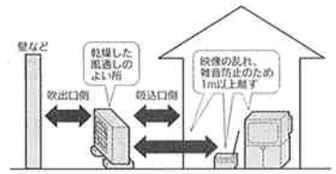
リモコンの設置場所について



励行

メインリモコンとふろリモコンの設置場所が近い場合、通話をするとハウリング(キーン等の大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

設置場所について



- 設置場所に余裕がある場合は、できるだけ広い間隔をお取りください。
- ヒートポンプユニットからの排水は水はけのよい場所にしてください。

■次のような場所に設置されていないことを確認してください。

- 油・蒸気・油煙の発生する場所
- 海浜地区など塩分の多い場所
  ･･･EHP-3732GPXH・EHP-3742GPXH・EHP-4642GPXH
- 温泉地などの硫化ガスの発生する場所
- アンモニアにさらされる場所
- 積雪により、ヒートポンプユニットがふさがれてしまう場所

■運転音にも配慮を

次のような場所をお選びください。

- 貯湯ユニットの重量に充分耐え、騒音や振動が増大しない場所
- ヒートポンプユニットの吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならない場所

■電気工事について

- 電源は必ずエコキュート専用回路を設置してください。

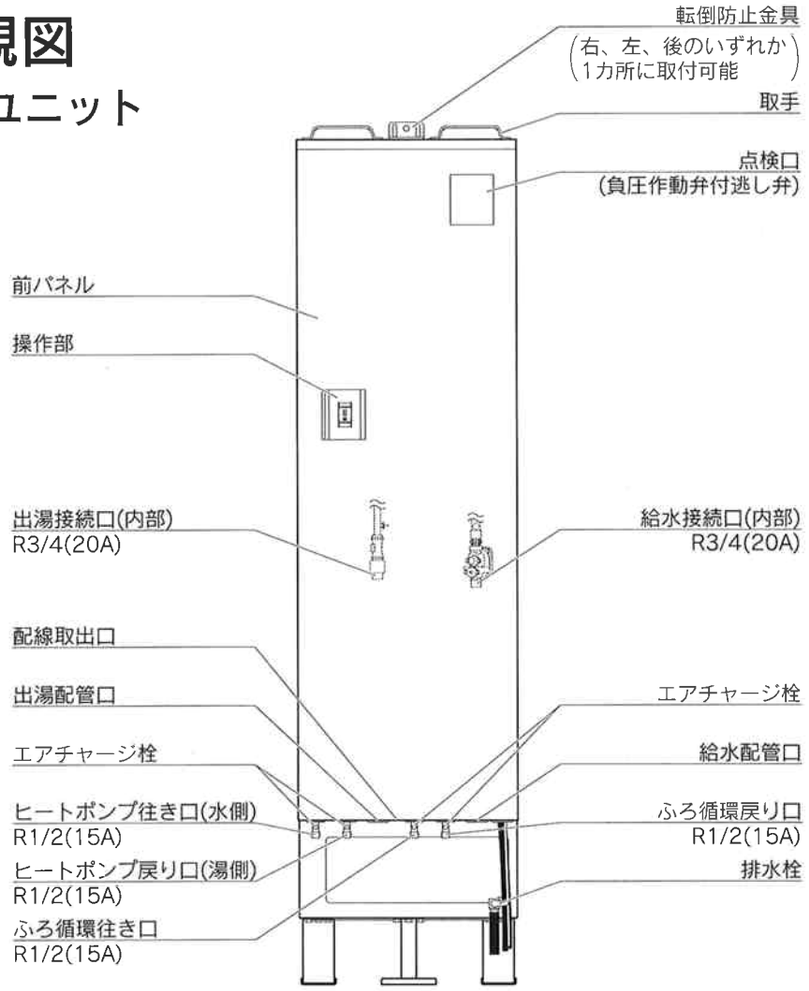
■移設について

- 増改築・引っ越しなどで、製品を移設したり再据付けする場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

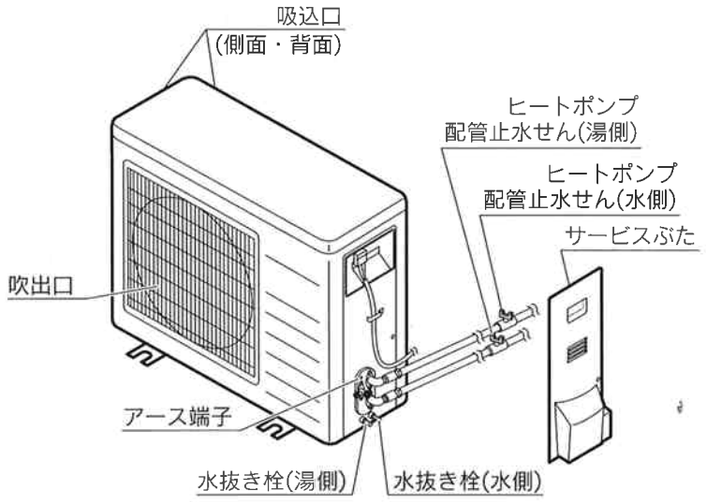
各部のなまえとはたらき

●外観図

貯湯ユニット

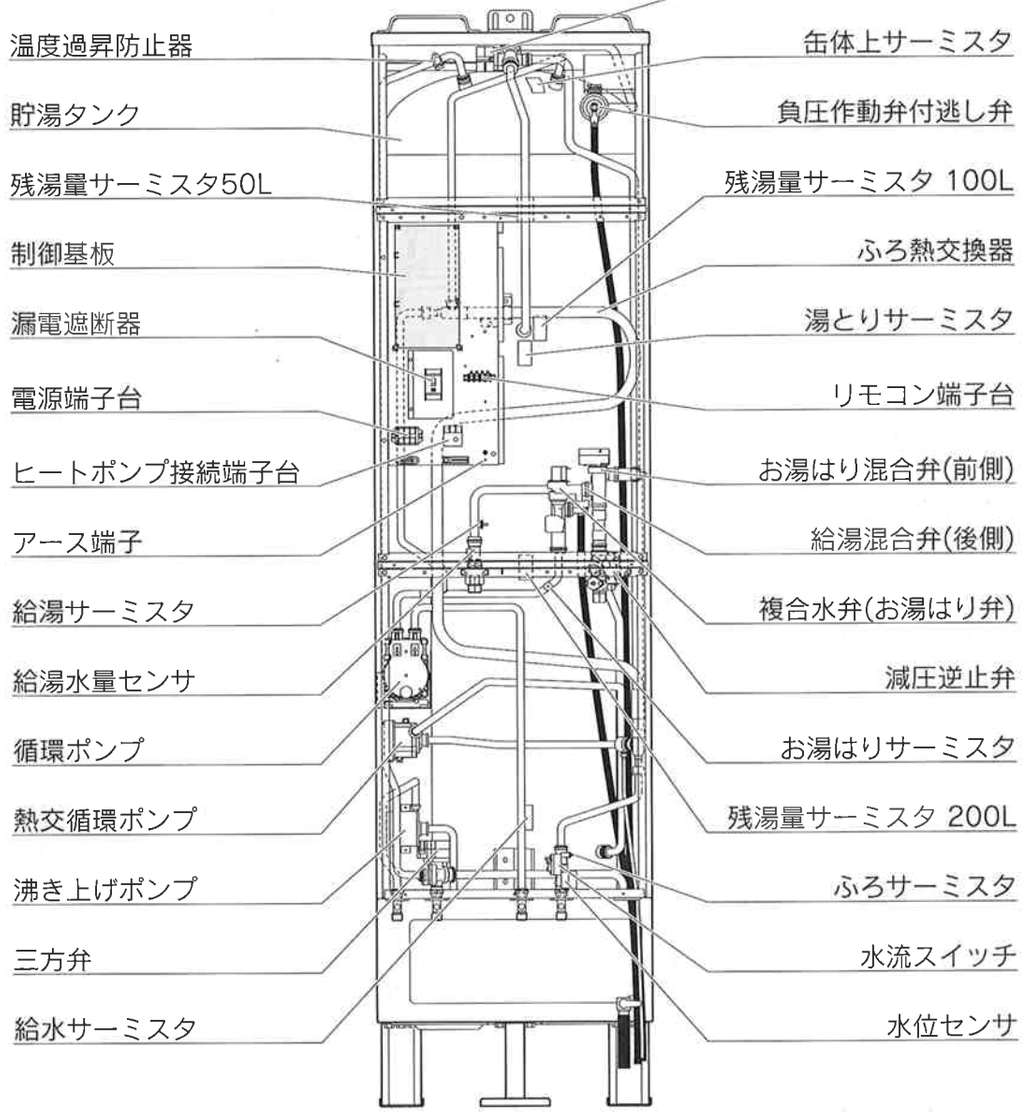


ヒートポンプユニット



●構造図

ET-3732GPXH
ET-3732GPXHE2

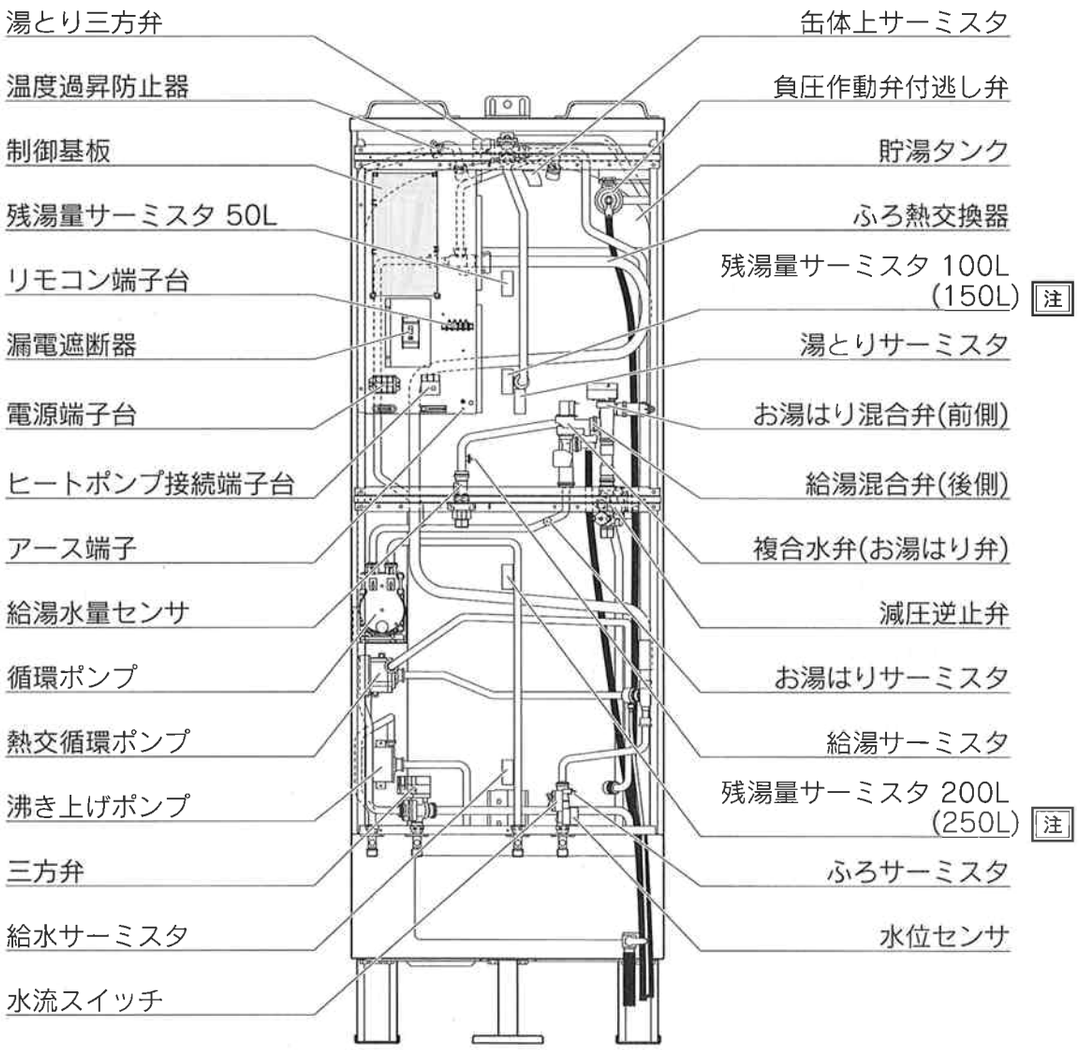


⚠警告 修理技術者以外は前パネルをはずさないでください。感電のおそれがあります。

各部のなまえとはたらき

●構造図

ET-3742GPXH　　ET-4642GPXH
ET-3742GPXHE2



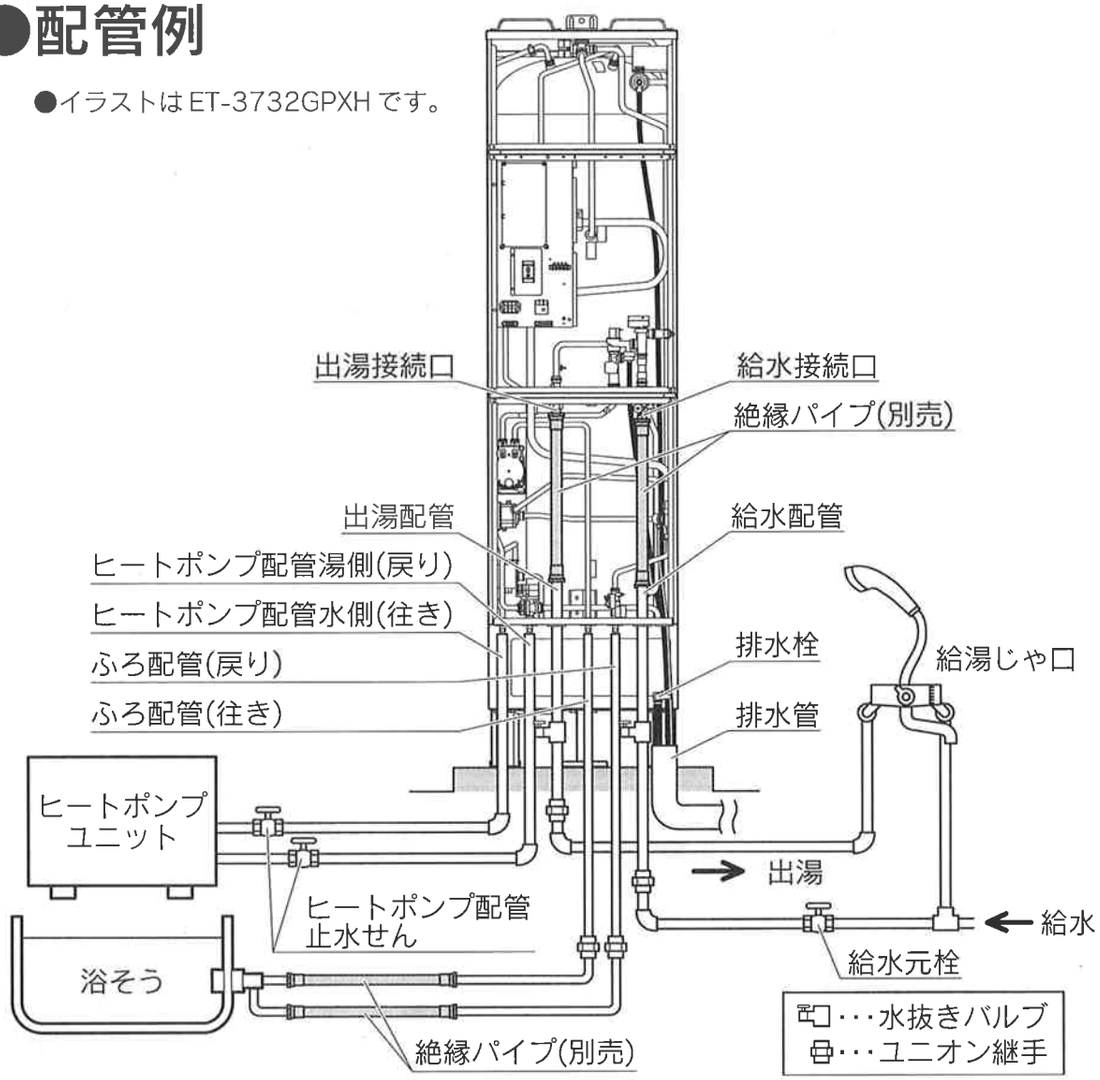
●イラストはET-3742GPXHです。

注 ･･･残湯量サーミスタの(　)はET-4642GPXHの場合です。

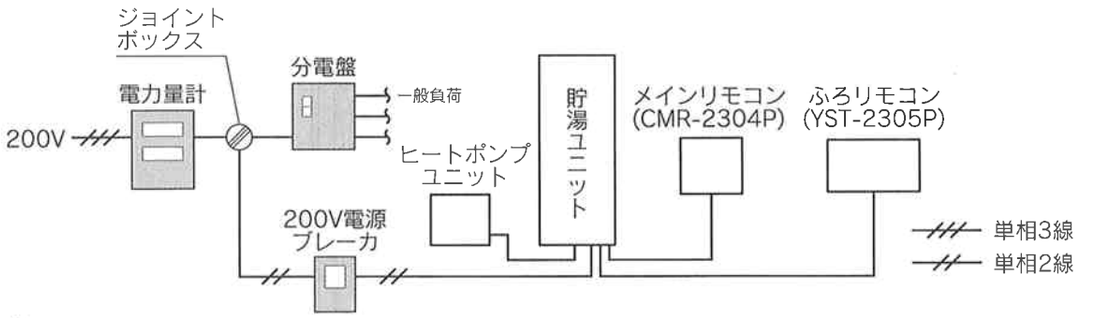
⚠警告　修理技術者以外は前パネルをはずさないでください。感電のおそれがあります。

●配管例

●イラストはET-3732GPXHです。



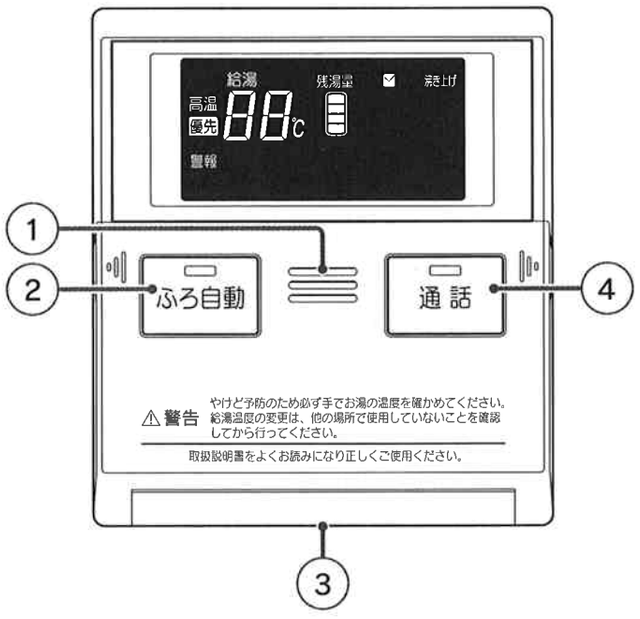
●配線例



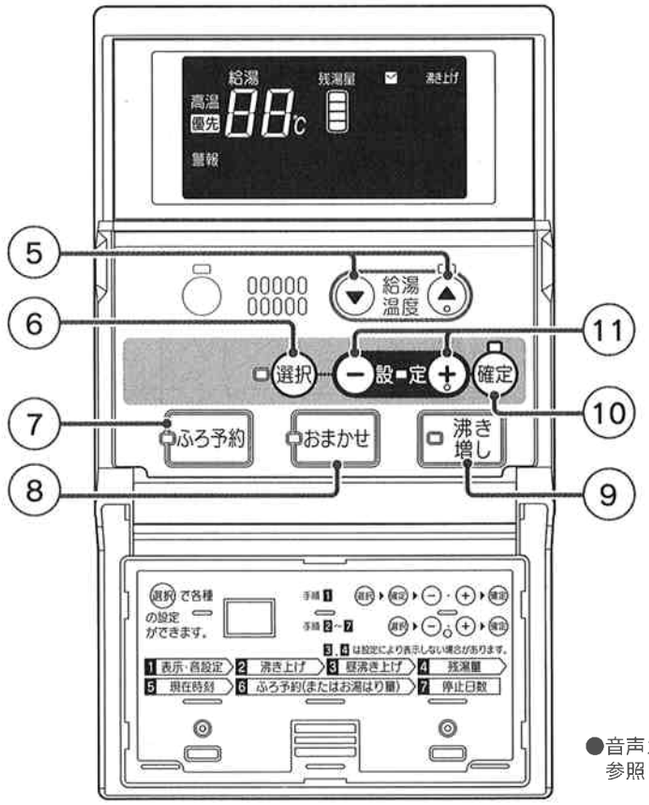
各部のなまえとはたらき

メインリモコン(別売) (CMR-2304P…インターホン付き)

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。



●音声ガイドの種類は53ページを参照してください。

①スピーカー

ここから音声や音が出ます。

②ふろ自動スイッチ(ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転するときに押します。
点灯…お湯はり中です。
点滅…保温運転中です。

③マイク

通話するときに使います。

④通話スイッチ(通話ランプ)

ふろリモコンと通話するときに押します。

48・49ページ

⑤給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。
温度調節範囲…約37~60℃
37~50℃までは1℃ごとに、50~60℃までは5℃ごとに設定できます。

⑥選択スイッチ

モード設定(現在時刻、沸き上げモード、ふろ予約時刻、メインリモコンの表示部の明るさ等)をするときに押します。

18ページ

⑦ふろ予約スイッチ(ふろ予約ランプ)

ふろ自動運転を予約するときに押します。
点灯…ふろ自動運転を予約中です。

⑧おまかせスイッチ(おまかせランプ)

おまかせ運転をするときに押します。

⑨沸き増しスイッチ(沸き増しランプ)

沸き増しをするときに押します。

⑩確定スイッチ

モード設定の内容を確定するときに押します。

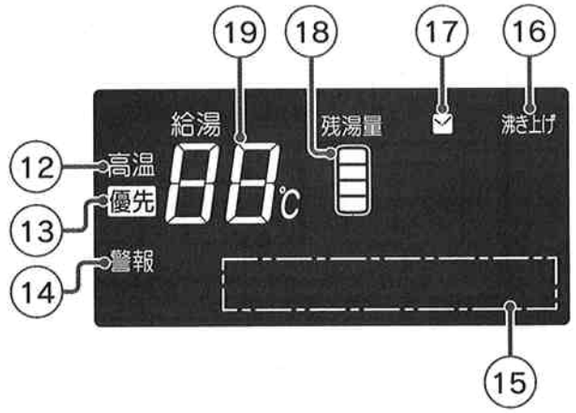
⑪設定スイッチ

モード設定の内容を変更するときに押します。
⊕…設定値を進めます。
⊖…設定値を戻します。

メインリモコンの表示部について

メインリモコンの表示は消すことはできません。

表示部



⑫高温表示	⑭警報表示	⑯沸き上げ表示	⑱残湯量表示
給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。	異常時に点滅して異常をお知らせします。	沸き上げ中に表示します。	貯湯タンク内のお湯の量を表示します。
⑬優先表示	**⑮ドット表示**	**⑰予約表示**	**⑲給湯温度表示**
この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。	**現在時刻、選択スイッチで設定した内容、エラーコード等を表示します。** 65・66ページ	ふろ自動運転を予約中に表示します。	給湯設定温度を表示します。

●表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

ディスプレイの特性について

●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示がゆっくり消えたりする場合がありますが故障ではありません。

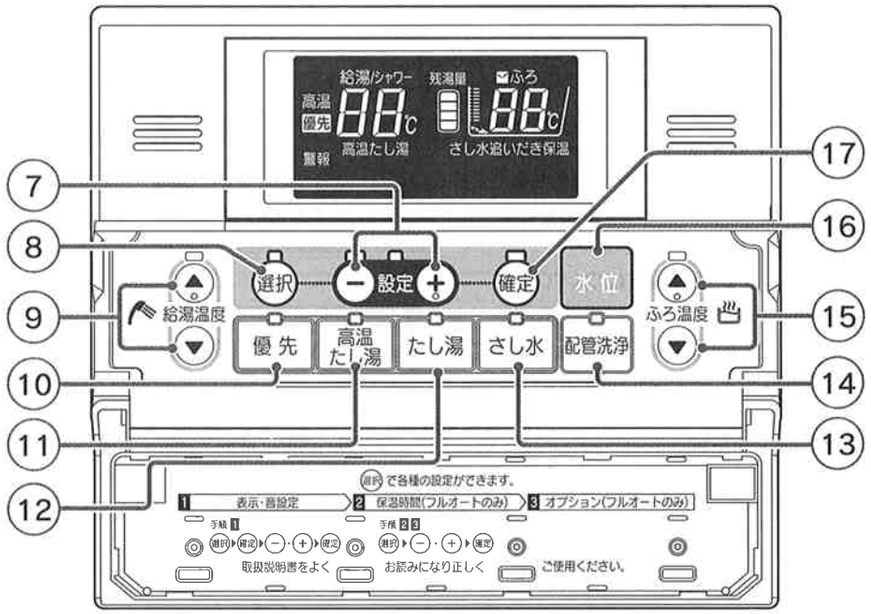
各部のなまえとはたらき

ふろリモコン(別売) (YST-2305P…インターホン付き)

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。



●音声ガイドの種類は54ページを参照してください。

①スピーカー
ここから音声や音が出ます。

②ふろリモコン入/切スイッチ (ふろリモコン入/切ランプ)
ふろリモコンを入/切するときに押します。

③ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)
ふろ自動運転するときに押します。
点灯…お湯はり中です。
点滅…保温運転中です。

④追いだきスイッチ (追いだきランプ)
追いだきするときに押します。
点灯…追いだき運転中です。

⑤通話スイッチ (通話ランプ)
メインリモコンと通話するときに押します。
48・49ページ

⑥マイク
通話するときに使います。

⑦設定スイッチ
モード設定の内容を変更するときに押します。
⊕…設定値を進めます。
⊖…設定値を戻します。

⑧選択スイッチ
モード設定(保温時間、オプション設定、ふろリモコンの表示部の明るさ等)をするときに押します。
18ページ

⑨給湯温度調節スイッチ
給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。
温度調節範囲…約37~60℃
37~50℃までは1℃ごとに、50~60℃までは5℃ごとに設定できます。

⑩優先スイッチ (優先ランプ)
ふろリモコンで給湯温度を調節するときに押します。
このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

ふろリモコン入 / 切スイッチを「切」にすると・・・

ふろリモコン入 / 切ランプおよび表示部が消灯します。
ただし、給湯温度を 55℃以上に設定した場合は給湯温度を表示します。
優先はメインリモコンに移動します。
通話スイッチ、選択スイッチ以外の操作は受け付けません。

⑪高温たし湯スイッチ (高温たし湯ランプ)
浴そうに高温たし湯するときに押します。
点灯…高温たし湯運転中です。

⑫たし湯スイッチ (たし湯ランプ)
浴そうにたし湯するときに押します。
点灯…たし湯運転中です。

⑬さし水スイッチ (さし水ランプ)
浴そうにさし水するときに押します。
点灯…さし水運転中です。

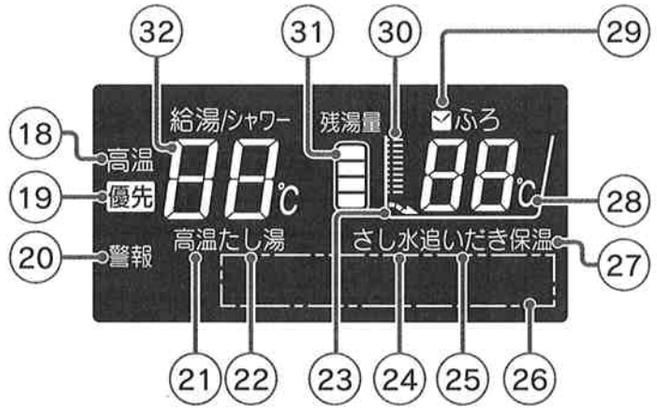
⑭配管洗浄スイッチ (配管洗浄ランプ)
配管洗浄をするときに押します。
点灯…配管洗浄中です。
39・40ページ

⑮ふろ温度調節スイッチ
ふろ自動運転、追いだき運転、たし湯運転の温度を調節するときに押します。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。
温度調節範囲…約35~48℃
1℃ごとに設定できます。

⑯水位スイッチ
ふろ自動運転で、浴そうの水位(お湯はり量)を設定するときに押します。
押すと水位(お湯はり量)が変更できます。

⑰確定スイッチ
モード設定の内容を確定するときに押します。

表示部



⑱高温表示
給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。

⑲優先表示
この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑳警報表示
異常時に点滅して異常をお知らせします。

㉑高温たし湯表示
点灯…高温たし湯中です。

㉒たし湯表示
点灯…たし湯中です。

㉓お湯はり表示
ふろ自動運転やたし湯運転、さし水運転で浴そうにお湯・水を入れているときに表示します。

㉔さし水表示
点灯…さし水中です。

㉕追いだき表示
点灯…追いだき中です。

㉖ドット表示
現在時刻、選択スイッチで設定した内容、エラーコード等を表示します。
65・66ページ

㉗保温表示
点灯…保温中です。

㉘ふろ温度表示
ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。

㉙予約表示
ふろ自動運転の予約中に表示します。

㉚水位表示
ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。

㉛残湯量表示
貯湯タンク内のお湯の量を表示します。

㉜給湯温度表示
給湯設定温度を表示します。

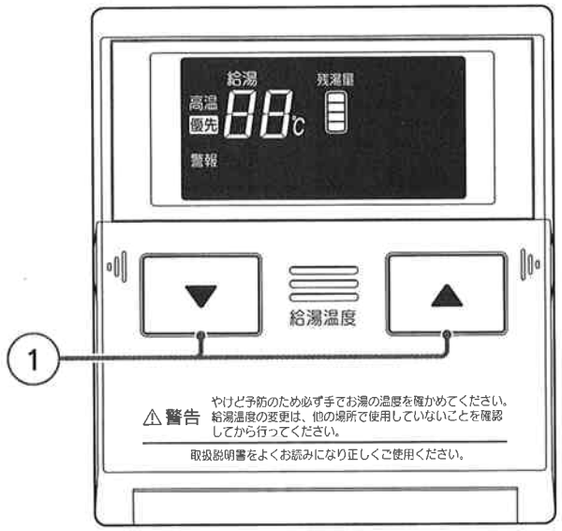
●表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

ディスプレイの特性について
●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示がゆっくり消えたりする場合がありますが故障ではありません。

各部のなまえとはたらき

サブリモコン(別売) (CMR-2305S)

ふたを閉じた状態です。



①給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。
温度調節範囲…約37～60℃
37～50℃までは1℃ごとに、50～60℃までは5℃ごとに設定できます。

②高温表示

給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。

③優先表示

この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

④警報表示

異常時に点滅して異常をお知らせします。

⑤優先スイッチ（優先ランプ）

サブリモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑥選択スイッチ

モード設定(サブリモコンの表示部の明るさ、表示部のコントラスト、表示モード)をするときに押します。

18ページ

⑦確定スイッチ

モード設定の内容を確定するときに押します。

⑧設定スイッチ

モード設定の内容を変更するときに押します。
⊕…設定値を進めます。
⊖…設定値を戻します。

⑨ドット表示

現在時刻、選択スイッチで設定した内容、エラーコード等を表示します。

65・66ページ

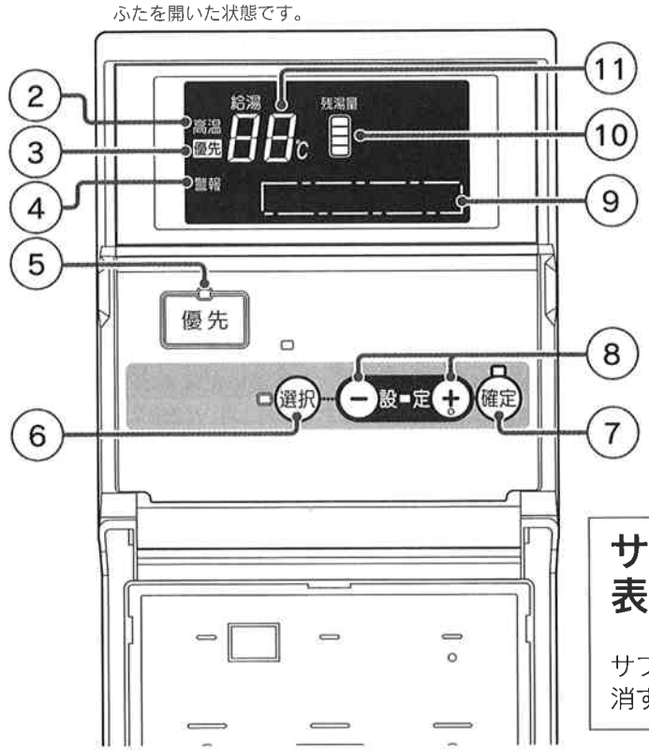
⑩残湯量表示

貯湯タンク内のお湯の量を表示します。

⑪給湯温度表示

給湯設定温度を表示します。

ふたを開いた状態です。



サブリモコンの表示部について

サブリモコンの表示は消すことはできません。

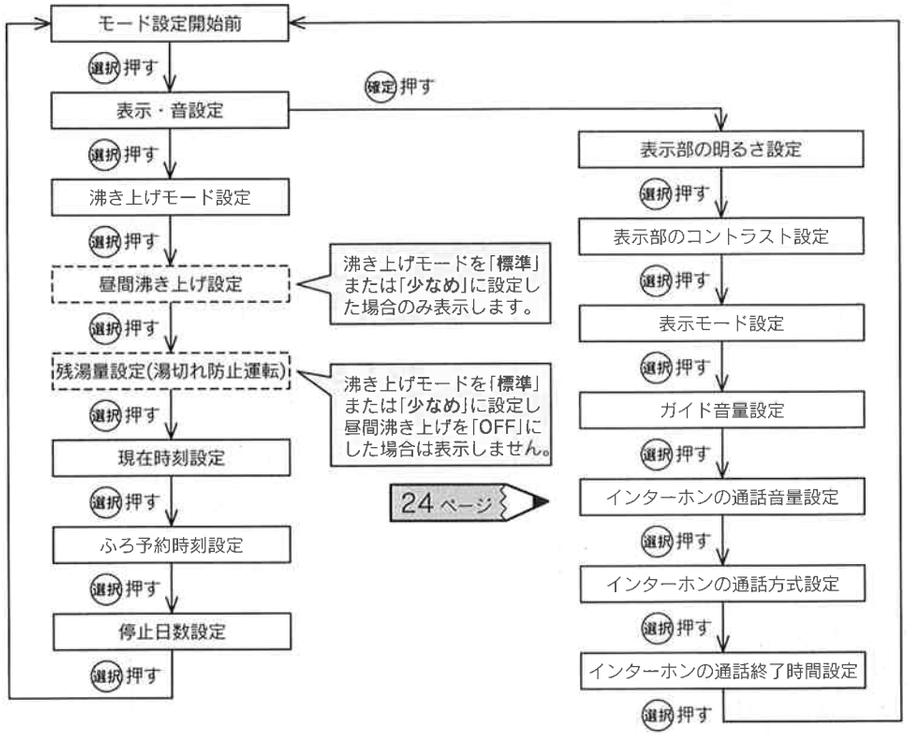
ディスプレイの特性について

●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示がゆっくり消えたりする場合がありますが故障ではありません。

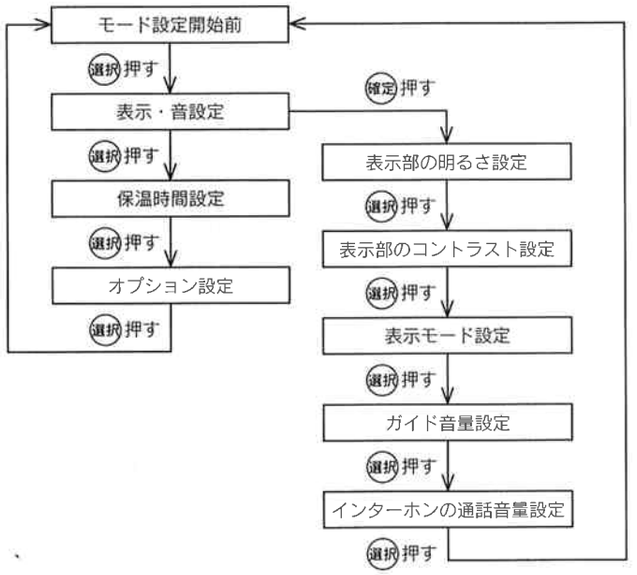
モード設定について

●選択スイッチを押すごとに、下記の順番で設定モードを表示します。
選択した設定モードをリモコンのドット表示部に表示します。

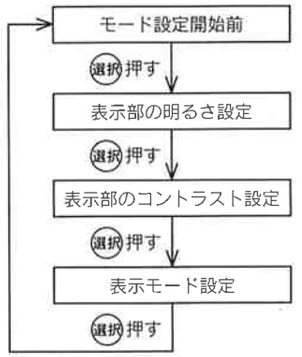
≪メインリモコンの場合≫



≪ふろリモコンの場合≫



≪サブリモコンの場合≫



契約電力制度を選ぶ(メインリモコン)

●この機器は申請により、通電制御型として電気料金の割引が適用されます。

⚠注意

すでに契約電力制度に合わせて設定されている場合は変更しないでください。
通常、据え付け時に設定しています。
適用電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

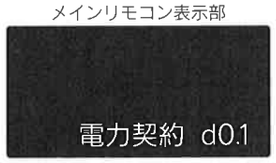
■契約電力制度を設定する

●電源が入っていない状態では、契約電力制度の設定はできません。

1 メインリモコンの設定スイッチの⊕を5秒間押し続ける



メインリモコン表示部



ドット表示部に「**電力契約 d01**」を表示します。

2 設定スイッチの⊕を押して契約電力制度を選ぶ



メインリモコン表示部



押すごとに切り替わります。

3 確定スイッチを押す



メインリモコン表示部



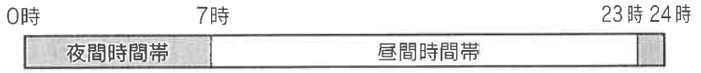
通常の表示に戻ります。

契約電力制度の確認方法

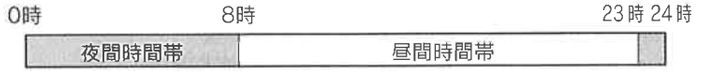
1. メインリモコンの設定スイッチの⊕を5秒間押し続ける。ドット表示部に契約電力制度を表示します。
2. 30秒経過またはふたを閉じることで元の表示に戻ります。

■契約電力制度の内容

「d01」表示(工場出荷時)
北海道電力･･･ドリーム8B
東北電力･･･やりくりナイト8
東京電力･･･おトクなナイト8
北陸電力･･･エルフナイト8
中部電力･･･タイムプラン
四国電力･･･電化Deナイト
関西電力
四国電力
九州電力
沖縄電力 ･･･時間帯別電灯(8時間型)



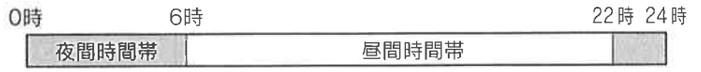
「d02」表示
中国電力･･･時間帯別電灯(9時間型)



「d03」表示
東北電力･･･やりくりナイト10
東京電力･･･おトクなナイト10
北陸電力･･･エルフナイト10
九州電力･･･よかナイト10



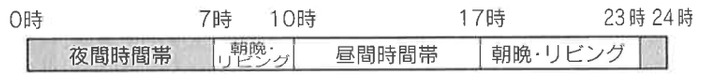
「d04」表示
北海道電力･･･ドリーム8A



「d05」表示
北海道電力･･･ドリーム8C



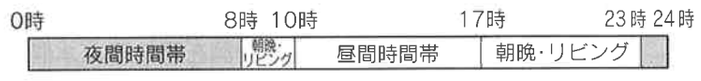
「h01」表示
東京電力･･･電化上手
関西電力･･･はぴeタイム
沖縄電力･･･Eeらいふ



「h02」表示
中部電力･･･Eライフプラン



「h03」表示
中国電力･･･ファミリータイム



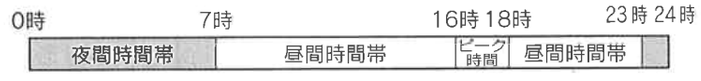
「h04」表示
九州電力･･･電化Deナイト
北陸電力･･･エルフナイト10プラス



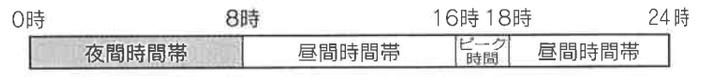
「h05」表示
北海道電力･･･ドリーム8エコA



「h06」表示
北海道電力･･･ドリーム8エコB



「h07」表示
北海道電力･･･ドリーム8エコC



ドリーム8エコのピーク時間は冬期間(12月～3月)のみです。
その他の期間(4月～11月)はピーク時間の設定はありません。

●契約している電力制度の内容については、各電力会社へお問い合わせください。
●上記に当てはまるものがない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

運転前の準備

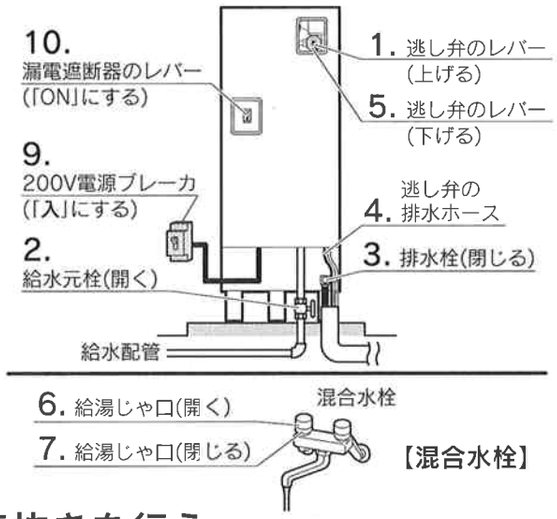
■貯める準備

1. 点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる。

■貯湯ユニットを満水にする

2. 給水元栓を開く。
3. 排水栓を閉じる。
4. 逃し弁の排水ホースから連続的に水が出ることを確認する。
   水が出るまで約 20 ～ 30 分かかります。
5. 逃し弁のレバーを下げ、点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを閉じる。
6. 給湯じゃ口を開き、配管内の空気を抜く。
7. 給湯じゃ口を閉じる。

【貯湯ユニット】

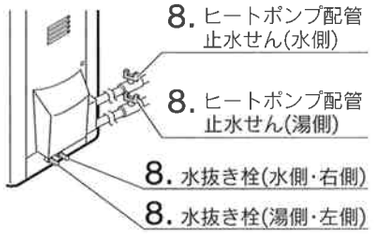


【混合水栓】

■ヒートポンプユニットの空気抜きを行う

8. 空気抜きを行う。
   (1)ヒートポンプ配管止水せん 2 カ所(湯側、水側)を開く。
   (2)ヒートポンプユニットの水抜き栓 2 カ所(湯側、水側)を開く。
   (3)水抜き栓 2 カ所で、空気混じりの水から連続的に水が出るまで確認する。
   (約 10 秒ほどかかります。ヒートポンプ配管の長さ、曲がりにより空気が抜けにくい場合は、水抜き栓を取りはずします。)
   (4)ヒートポンプ配管止水せんの湯側を閉じる。(水側は開いたまま)
   (5)水抜き栓の水側(右側)を閉じる。〔湯側(左側)は開いたまま〕
   (6)水抜き栓の湯側(左側)で、空気混じりの水から連続的に水が出るまで確認する。
   (約 30 秒ほどかかります。)
   (7)水抜き栓の湯側(左側)を閉じる。
   (8)ヒートポンプ配管止水せんの湯側を開く。

【ヒートポンプユニット】

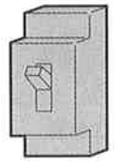


■運転開始

9. 200V 電源ブレーカを「**入**」にする。
10. 貯湯ユニットの操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「**ON**」にしてふたを閉じる。
11. 現在時刻が合っているか確認する。 22 ページ
12. 沸き上げモードを設定する。 23～25 ページ

現在時刻の設定(メインリモコン)

1 200V 電源ブレーカを「入」にする



2 漏電遮断器のレバーを「ON」にする



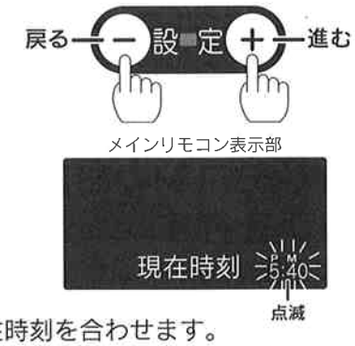
貯湯ユニットの操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「ON」にして、ふたを閉じます。

3 メインリモコンの選択スイッチを数回押して「現在時刻」を表示させる



18 ページ

4 設定スイッチを押す



現在時刻を合わせます。
1 回ずつ押すと 1 分、押し続けると 10 分単位で変わります。

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 停電した後は現在時刻が合っているか確認してください。
- 現在時刻が合っていないと昼夜の判断が正しく行われず、電気料金が割高になることがあります。(AM は午前、PM は午後です。)
- 時計の精度は月差± 30 秒です。

使用方法

沸き上げモードの設定(メインリモコン)

●工場出荷時は「**おまかせ運転**」に設定しています。
●設置当日やお湯を多量に使用するときは、沸き上げモードを「**連続**」に設定してください。
昼間でも連続で運転しますが、お湯が沸くまでしばらく時間がかかります。
●通常は「**おまかせ運転**」での使用をおすすめします。

■おまかせ運転

●おまかせ運転の沸き上げ温度は約 65 ～ 90℃です。
毎日のお湯の使用量を学習して、最適な湯量と温度に沸き上げます。

前日に湯切れした (お湯の使用量が多かった)	翌日のお湯の沸き上げ量と温度を**自動的にアップ**します。
前日に湯が余った (お湯の使用量が少なかった)	翌日のお湯の沸き上げ量と温度を**自動的にダウン**します。

メインリモコンのおまかせスイッチを押す

点灯



メインリモコン表示部



おまかせランプが点灯し、ドット表示部に「**おまかせ**」と表示します。

おまかせ運転の解除

メインリモコンのおまかせスイッチを押します。
(おまかせランプ、ドット表示部の「**おまかせ**」表示が消灯して、前回の沸き上げモードに戻ります。)

●おまかせ運転はお湯の使用量が多い場合、貯湯タンク内にお湯が残っていても昼間時間帯に沸き上げを行う場合があります。

《追加沸き上げ運転》
昼間時間帯にお湯を使用すると、自動的に使用した量のお湯を追加で沸き上げます。
最長で 6 時間の追加沸き上げ運転を行いますが、昼間時間帯に沸き上げを行う回数・時間は学習内容により異なります。

《湯切れ防止運転》
急な来客などで多量にお湯を使用し、残湯量が設定された湯量以下になると昼間時間帯に自動的に沸き上げを行い、湯切れを防止します。 26・27 ページ

■沸き上げモードの用途と沸き上げ温度の目安

●沸き上げモード(4 段階)を変更することにより、お好みの運転ができます。

沸き上げモード	用途	沸き上げ温度	昼間運転	
			3732タイプ 3742タイプ	4642タイプ
連続	お湯を多量に使用するとき (来客の多い日など)	約75～85℃	残湯量300L未満で沸き上げ	残湯量370L未満で沸き上げ
多め	標準では足りないとき (冬場など)	約75～85℃	追加沸き上げ運転(最長4時間)の後、湯切れ防止運転	
標準	通常の使用量のとき	約75～85℃	昼間沸き上げ運転ON・・・湯切れ防止運転 昼間沸き上げ運転OFF・・運転しない	
少なめ	標準では余り気味のとき (夏場など)	約65℃		

●「**連続**」は設定後 24 時間経過すると、前回の沸き上げモードに戻ります。
引き続き「**連続**」で使用する場合は、再度「**連続**」に設定してください。
●「**多め**」は、お湯の使用に応じて以下の運転を行います。

《追加沸き上げ運転》
昼間時間帯にお湯を使用すると、自動的に使用した量のお湯を追加で沸き上げます。
最長で 4 時間の追加沸き上げ運転を行います。

《湯切れ防止運転》
急な来客などで多量にお湯を使用し、残湯量が設定された湯量以下になると昼間時間帯に自動的に沸き上げを行い、湯切れを防止します。 26・27 ページ

●「**標準**」または「**少なめ**」で「**昼間沸き上げ運転**」を「ON」にした場合は、昼間時間帯に《**湯切れ防止運転**》を行います。 25・26 ページ

●外気温によって沸き上げ温度は変わります。

■沸き上げモード(4 段階)の設定

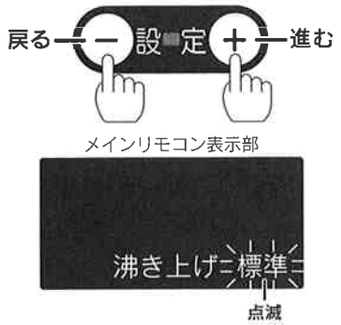
●夜間時間帯の使用量が多く、湯量が不足する場合は「**多め**」に設定してください。

1 メインリモコンの選択スイッチを数回押して「沸き上げ」を表示させる

18 ページ



2 設定スイッチを押す



希望の沸き上げモードに合わせます。
→**多め**↔**連続**↔**少なめ**↔**標準**← の順で変更されます。

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

(沸き上げモードを**標準**に設定した場合)

昼間沸き上げ運転(メインリモコン)

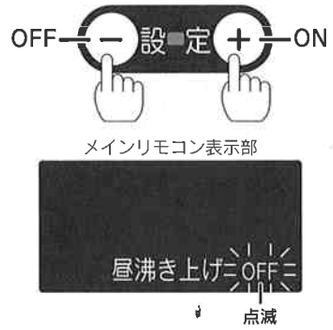
●この設定は沸き上げモードを「**標準**」または「**少なめ**」に設定している場合に有効です。
沸き上げモードを「**おまかせ運転**」、「**連続**」、「**多め**」に設定している場合は表示しません。
●昼間時間帯の沸き上げは昼間電力で沸き上げるので、電気料金は割高になります。

1 メインリモコンの選択スイッチを数回押して「昼沸き上げ」を表示させる



18ページ

2 設定スイッチを押す



⊕はON、⊖はOFF と切り替わります。

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



(沸き上げモードを**標準**に設定した場合)

通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「ON」に設定しています。

沸き上げを開始する残湯量の設定[湯切れ防止運転](メインリモコン)

●急な来客などで多量にお湯を使用し、残湯量が設定された湯量以下になると昼間に自動的に沸き上げを行い、湯切れを防止します。
●この設定は沸き上げモードが「**おまかせ運転**」、「**多め**」、「**標準**」、「**少なめ**」で昼間沸き上げ運転を「ON」に設定している場合に有効です。

23・24ページ

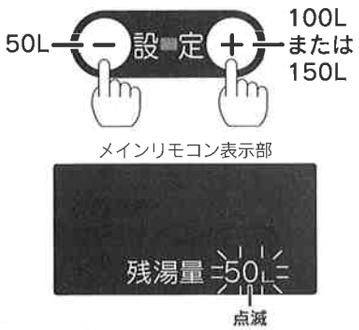
●沸き上げを開始する残湯量を「100L」または「50L」に設定できます。･･･3732・3742タイプ
沸き上げを開始する残湯量を「150L」または「50L」に設定できます。･･･4642タイプ

1 メインリモコンの選択スイッチを数回押して「残湯量」を表示させる



18ページ

2 設定スイッチを押す



希望の残湯量を選択します。
⊕は100L、⊖は50L(3732・3742タイプ)
⊕は150L、⊖は50L(4642タイプ)
と切り替わります。

使用方法

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「**100L**」に設定しています。･･･3732・3742タイプ
　工場出荷時は「**150L**」に設定しています。･･･4642タイプ
●残湯量とは貯湯タンク内に確保しておくお湯の量です。

100L(150L)設定

●安心してお使いいただけるお湯を確保します。
(40℃ 200L程度)

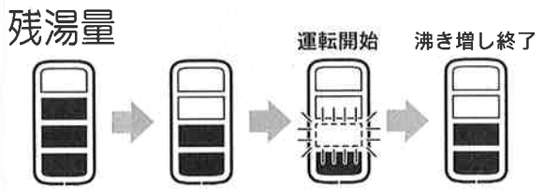
●ご使用はじめ(使用量がわからない場合)
冬期(お湯の使用量が多くなります。)
お湯の使用量が多かったり、少なかったり変化する。
保温・追いだき運転をひんぱんに行う。

100L(150L)設定でご使用ください。

リモコンの残湯量表示と沸き上げ

残り湯が約100L(150L)で沸き増しします。

●2番目の表示が消え、いちばん下の表示だけの状態〔45℃以上のお湯が約100L(150L)〕になると自動的に沸き増しします。



50L設定

●確保するお湯の量が少ないので、沸き増し運転時間は短くなりますが、湯量不足となることがあります。
(40℃ 100L程度)

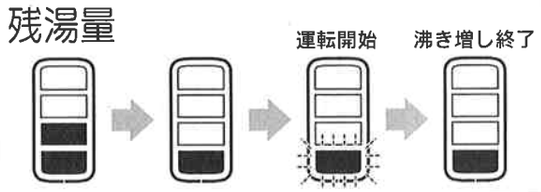
●お湯の使用量が少ない。
使わないお湯がいつも残っている。
お湯の使用量が変化しない。

50L設定でご使用ください。
湯量不足になる場合は100L(150L)設定に変更してご使用ください。

リモコンの残湯量表示と沸き上げ

残り湯が約50Lで沸き増しします。

●いちばん下の表示が点滅状態(45℃以上のお湯が約50L)になると自動的に沸き増しします。

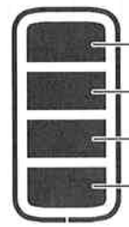


●使用状況により上記残湯量表示にかかわらず沸き増し運転を行う場合があります。

残湯量のめやす

●残湯量表示は45℃以上のお湯の量を表示します。
残湯量が50L未満になると「**お湯が少なくなりました**」と音声でお知らせし、いちばん下の残湯量表示が点滅します。

残湯量



	3732タイプ 3742タイプ	4642タイプ
	約300L以上	約370L以上
	約200～300L	約250～370L
	約100～200L	約150～250L
	約50～100L (50L未満点滅)	約50～150L (50L未満点滅)

沸き増し運転(メインリモコン)

●昼間時間帯の沸き増しは昼間電力で沸き上げるので、電気料金は割高になります。
●設定した沸き上げモードの沸き上げ温度に沸き上げます。

1 メインリモコンの沸き増しスイッチを押す



沸き増しランプが点灯、ドット表示部に「**沸き増し**」と表示し、沸き上げを開始します。

2 沸き増し運転終了

沸き増し運転開始から1時間経過すると、自動的に沸き増し運転を終了します。
ただし残湯量が100L未満の場合は100Lまで沸き上げを行います。
･･･3732・3742タイプ

沸き増し運転開始から1時間経過すると、自動的に沸き増し運転を終了します。
ただし残湯量が150L未満の場合は150Lまで沸き上げを行います。
･･･4642タイプ

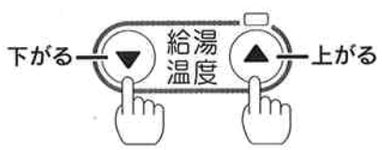
お知らせ

●途中で停止するときは、メインリモコンの沸き増しスイッチを押してください。
(沸き増しランプが消灯します。)
●多量のお湯が必要な場合は、沸き上げモードを「**連続**」に設定してください。
●残湯量が300L以上ある場合は、沸き増し運転を受け付けないことがあります。
･･･3732・3742タイプ
残湯量が370L以上ある場合は、沸き増し運転を受け付けないことがあります。
･･･4642タイプ

給湯

1 給湯温度調節スイッチを押す

＜メインリモコン・サブリモコンの場合＞



（イラストはメインリモコンです。）

メインリモコン・サブリモコン表示部



＜ふろリモコンの場合＞



ふろリモコン表示部

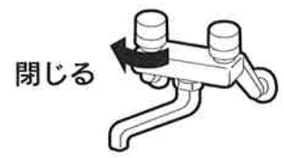


優先表示が点灯しているリモコンで**約37～60℃**の範囲で調節できます。
37～50℃までは1℃ごとに、50～60℃までは5℃ごとに設定できます。
給湯温度を37～50℃に設定すると、ドット表示部に「湯温変更」と5回点滅表示します。
給湯温度を55℃以上に設定すると高温表示が点灯し、ドット表示部に「湯温変更」と3回、「高温注意」と3回点滅表示を2回繰り返し表示します。
ふろリモコンの優先スイッチを「切」にすると、メインリモコンまたはサブリモコンに「優先」が移動します。

2 給湯じゃ口を開く



3 給湯じゃ口を閉じる



⚠警告

給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

お知らせ

●追いだき運転をすると高温出湯できない場合があります。

数日間運転を停止する方法［停止日数設定］(メインリモコン)

●旅行などでお湯を使用しないときに、数日間(1～10日)沸き上げを行わないように設定できます。

⚠注意

冬期で凍結のおそれのある時期は停止日数設定を行わないでください。
急な寒波のため配管が凍結して破損することがあります。
「**長期間使用しない場合**」に従って水を抜いてください。
56～58ページ

1 メインリモコンの選択スイッチを数回押して「停止日数」を表示させる



メインリモコン表示部



18ページ

2 設定スイッチを押す



メインリモコン表示部



停止したい希望の日数に合わせます。
停止できる日数は**1～10日間**です。

3 確定スイッチを押す



メインリモコン表示部



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この時、確定スイッチを押さずに続けて選択スイッチを押すと通常の表示に戻ります。

4 再度、確定スイッチを押す



メインリモコン表示部



設定が完了し、その日から沸き上げを停止します。

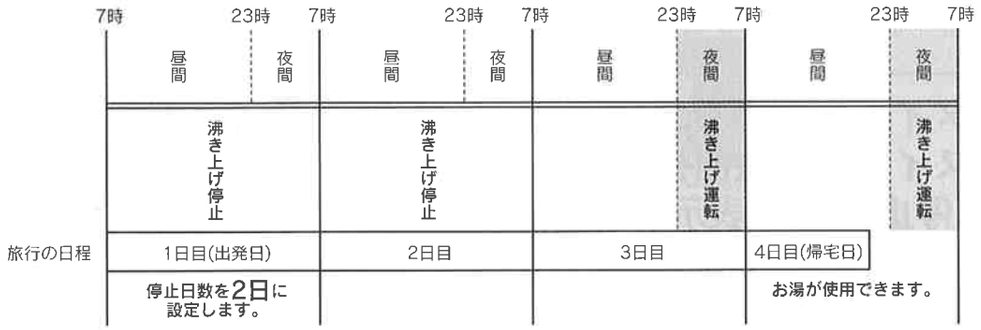
停止日数設定の解除

選択スイッチを押して「**停止日数**」設定を選び、停止日数を「**0**」に合わせ確定スイッチを押します。
停止日数設定をする前の表示に戻ります。

使用方法

お知らせ

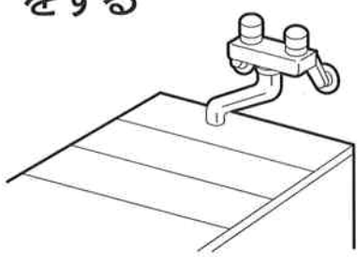
●停止日数設定を行ったその日から沸き上げを停止します。
●帰宅する前日の夜に沸き上げを行わないと、帰宅する日にお湯が使用できません。
例 **3泊4日の旅行の場合**･･･出発日に停止日数を**2日**に設定してください。



ふろ自動運転

●自動的に浴そうにお湯はり《自動お湯はり》を行い、その後自動たし湯・自動保温を行う運転です。

1 浴そうに排水栓とふたをする



設置後初めてお湯はりを行う場合は、必ず浴そうを空にしてください。

2 ふろリモコンの水位スイッチを押す



水位は循環口の高さから1段目は約10～15cm、2段目以上は約4cmずつ増えます。

3 ふろ温度調節スイッチを押す



約35～48℃の範囲で調節できます。

4 ふろ自動スイッチを押す



ふろ自動ランプが点灯し、ドット表示部に「**お湯はり開始**」と5回点滅表示して、お湯はりを開始します。残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。



5 ふろ自動運転終了

設定した水位までお湯はりすると自動的に停止します。
ふろ設定温度に沸き上げるとお湯はりの完了をメインリモコンの音声と、ドット表示部に「**お湯はり完了**」と5回点滅表示し、保温を開始します。
その後お湯が冷めたら、保温してふろ設定温度に保ちます。
保温中はふろ自動ランプが点滅します。

お知らせ

●工場出荷時は、水位(お湯はり量)を2段目に設定しています。
●途中で停止するときは、ふろ自動スイッチを押してください。(ふろ自動ランプが消灯します。)
●浴そうに前日の残り湯がある場合は、排水してからふろ自動運転を行ってください。
前日の残り湯を使用すると湯切れすることがあります。
●次回からは「***1***」･「***4***」を行うだけでふろ自動運転を開始しますが、やけど防止のためふろ設定温度は確認してください。
●一度水位を設定すると毎回同じ量でお湯はりができます。
●保温運転中は約20分に一度循環ポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで沸き上げます。
●洋風バスなど浅い浴そうや循環口の位置によっては、水位設定を高めにすると浴そうから湯があふれる場合があります。
●試運転時(設置後最初に運転する時のみ)に、浴そうにお湯(水)が入っている状態で、ふろ自動運転をしようとするとエラーコード「F00」が出て運転を停止します。
このときは、浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。

保温時間の設定(ふろリモコン)

●出荷時に保温時間は２時間に設定されています。(最大４時間)

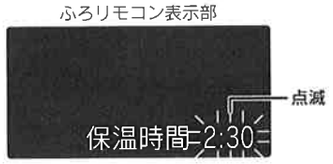
1 ふろリモコンの選択スイッチを数回押して「保温時間」を表示させる



18ページ

2 設定スイッチを押す





希望の保温時間に合わせます。
設定スイッチを押すと保温時間が

2:00↔2:30‥‥4:00↔0:00‥‥1:30

と変わります。

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

●保温時間中に浴そうの水を抜くとエラーコード「**F03**」が出て運転を停止します。
このときは、ふろリモコンのふろリモコン入/切スイッチを「**切**」にすることでリセットできます。

オプション設定(ふろリモコン)

●ふろリモコンの選択スイッチを数回押すと「**オプション**」を表示しますが、この機種でオプションを「ON」に変更しても何も変わりません。(オプションには対応していません。)



お知らせ

●工場出荷時は「OFF」に設定しています。

ふろ予約運転(メインリモコン)

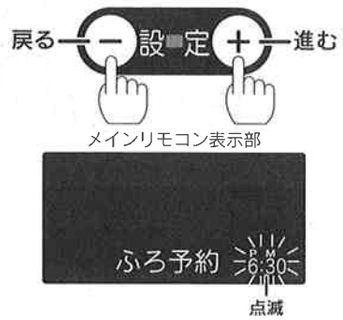
●ふろ自動運転の予約ができます。

1 メインリモコンの選択スイッチを数回押して「ふろ予約」を表示させる



18ページ

2 設定スイッチを押す



希望の予約時刻に合わせます。
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

5 ふろ予約スイッチを押す



ふろ予約ランプが点灯し、ドット表示部にふろ予約時刻と「**ふろ予約**」を10回点滅表示します。

ふろ予約運転の解除

メインリモコンのふろ予約スイッチを再度押すと、ふろ予約運転が解除されます。

お知らせ

●現在時刻が合っていることを確認してください。
●お湯はりの水位や沸き上げ温度は、ふろ自動運転と同じ設定になります。
●予約中に停電すると予約が解除されることがあります。
●次回からは「**5**」を行うだけで同じ時刻にお湯はりが完了します。
●当日のふろ自動運転の予約は、予約時刻の30分以上前に設定してください。
●予約お湯はり中に途中で停止するときは、ふろ予約スイッチを押した後、ふろ自動スイッチを押してください。

高温たし湯運転(ふろリモコン)

●60℃のお湯を約30Lたし湯します。

1 ふろリモコンの高温たし湯スイッチを押す



高温たし湯ランプが点灯し、ドット表示部に「**高温注意**」と5回点滅表示し、高温たし湯を開始します。

2 高温たし湯運転終了

60℃のお湯を約30Lたし湯すると、自動的に高温たし湯運転を終了します。

お知らせ

●途中で停止するときは、ふろリモコンの高温たし湯スイッチを押してください。
(高温たし湯ランプが消灯します。)

⚠警告

高温たし湯運転をするときは、循環口から離れてください。
また、浴そうにお湯がないときは、高温たし湯スイッチは押さないでください。
やけどのおそれがあります。

使用方法

たし湯運転(ふろリモコン)

●ふろ設定温度のお湯を約 20L たし湯します。

1 ふろリモコンのふろ温度調節スイッチを押す



約 35 ～ 48℃の範囲で調節できます。

2 たし湯スイッチを押す



たし湯ランプが点灯し、ドット表示部に「**たし湯を開始**」と５回点滅表示して、設定温度のお湯を約 20L たし湯します。

3 たし湯運転終了

約 20L のお湯をたし湯すると、自動的にたし湯運転を終了します。

お知らせ

●途中で停止するときは、ふろリモコンのたし湯スイッチを押してください。
(たし湯ランプが消灯します。)

さし水運転(ふろリモコン)

●約 10L の水をさし水してふろの温度を下げます。

1 ふろリモコンのさし水スイッチを押す



さし水ランプが点灯し、ドット表示部に「**さし水を開始**」と５回点滅表示します。

2 さし水運転終了

約 10L の水をさし水すると、自動的にさし水運転を終了します。

お知らせ

●途中で停止するときは、ふろリモコンのさし水スイッチを押してください。
(さし水ランプが消灯します。)
●さし水運転終了後の温度は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。

追いだき運転(ふろリモコン)

1 ふろリモコンのふろ温度調節スイッチを押す



約 35 ～ 48℃の範囲で調節できます。

2 追いだきスイッチを押す



追いだきランプが点灯し、ドット表示部に「**追いだき開始**」と５回点滅表示します。

3 追いだき運転終了

お湯の温度が設定温度より低い場合は設定温度まで沸き上げ、お湯の温度が設定温度以上の場合は、お湯の温度＋ 1℃まで沸き上げ、自動的に追いだき運転を終了します。
(最高 48℃まで沸き上げます。)

お知らせ

●前日の残り湯で追いだき運転を行わないでください。
前日の残り湯を使用すると湯切れすることがあります。
●途中で停止するときは、ふろリモコンの追いだきスイッチを押してください。
(追いだきランプが消灯します。)
●追いだき運転をすると高温出湯できない場合があります。
●追いだき運転を頻繁にする場合は、沸き上げモードの設定を「**連続**」または「**多め**」にしてください。
(湯切れの原因になります。)
●貯湯タンク内の温度が低い場合は、追いだき運転を受け付けないことがあります。

お願い 浴そうの水が循環口から約 10cm 以上ある状態で使用してください。

使用方法

配管洗浄(ふろリモコン)

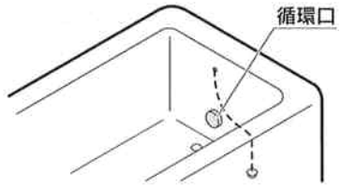
■配管内の浴水を排水する場合

●配管にきれいな水(約 5L)を流して配管内に残った浴水を排水します。

1 ふろリモコン入 / 切スイッチを「入」にする



2 浴そうの水位を確認する

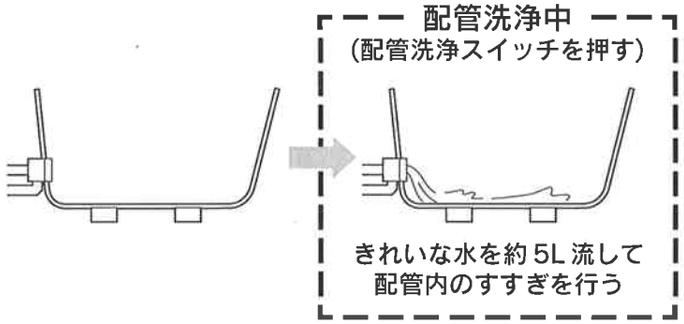


浴そうの排水栓を抜くまたは、残り湯(水)が循環口より下にあることを確認してください。

3 配管洗浄スイッチを押す



配管洗浄ランプが点灯し、ドット表示部に「**配管洗浄中**」と表示し、配管洗浄を開始します。



4 配管洗浄終了



配管洗浄ランプが消灯します。

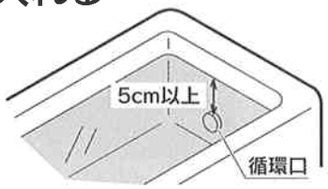
■配管洗浄剤を使用して配管洗浄する場合

●浴そう内の水を循環させ配管を洗浄します。

1 ふろリモコン入 / 切スイッチを「入」にする



2 浴そうの水位を確認し、長府指定の配管洗浄剤(強制循環式風呂釜用)を入れる

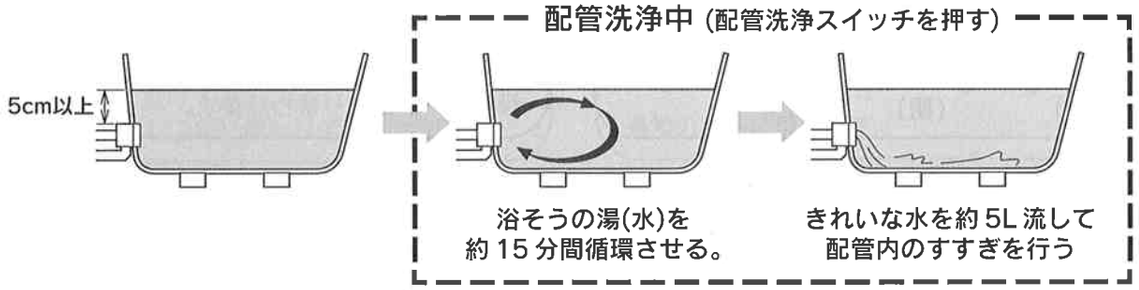


残り湯(水)が循環口より**約 5cm 以上**あることを確認し、浴そうに配管洗浄剤を入れてよく溶かしてください。

3 配管洗浄スイッチを押す

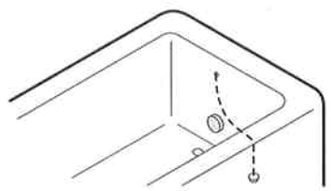


配管洗浄ランプが点灯し、ドット表示部に「**配管洗浄中**」と表示し、配管洗浄を開始します。



4 配管洗浄終了





配管洗浄ランプが消灯します。
残り湯(水)を排水して、浴そうをよく水洗いしてください。

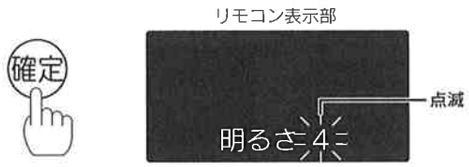
表示部の明るさ設定(メインリモコン・ふろリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる

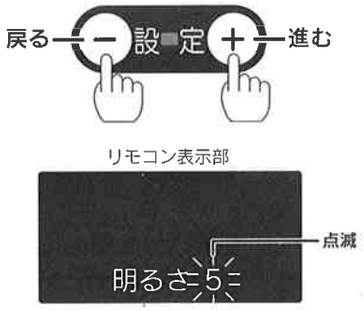


18ページ

2 確定スイッチを押す



3 設定スイッチを押す



希望の明るさに合わせます。
1↔2・・・6↔7 の順で変更されます。
(暗) (明)

4 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

5 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「4」に設定しています。
- 表示部の明るさはリモコンごとに設定することができます。

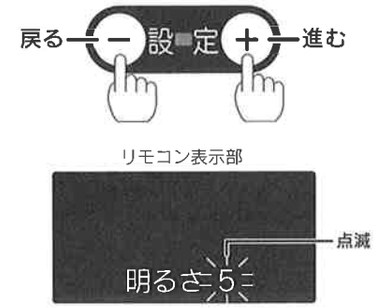
表示部の明るさ設定(サブリモコン)

1 選択スイッチを押して「明るさ」を表示させる



18ページ

2 設定スイッチを押す



希望の明るさに合わせます。
1↔2・・・6↔7 の順で変更されます。
(暗) (明)

3 確定スイッチを押す



この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「4」に設定しています。
- 表示部の明るさはリモコンごとに設定することができます。

使用方法

表示部のコントラスト設定(メインリモコン・ふろリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



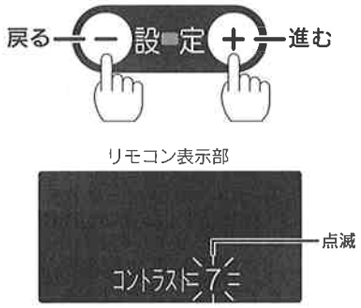
18ページ

2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して「コントラスト」を表示させる

4 設定スイッチを押す



希望の明るさに合わせます。
1⇔2･･･8⇔9 の順で変更されます。
(淡) (濃)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- ●工場出荷時は「5」に設定しています。
- ●表示部のコントラストはリモコンごとに設定することができます。

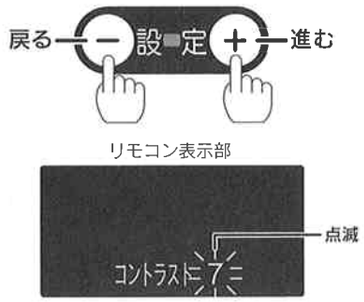
表示部のコントラスト設定(サブリモコン)

1 選択スイッチを数回押して「コントラスト」を表示させる



18ページ

2 設定スイッチを押す



希望の明るさに合わせます。
1⇔2･･･8⇔9 の順で変更されます。
(淡) (濃)

3 確定スイッチを押す



この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- ●工場出荷時は「5」に設定しています。
- ●表示部のコントラストはリモコンごとに設定することができます。

表示モード設定について

●表示部バックライトの点灯状態を設定することができます。

自動 1	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗くなり節約モードになります。(操作終了約 25 分後より)
自動 2	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。(操作終了約 25 分後より)
入	常に設定した明るさで表示します。
切	常にバックライトを消灯します。

表示モード設定(メインリモコン・ふろリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



18ページ

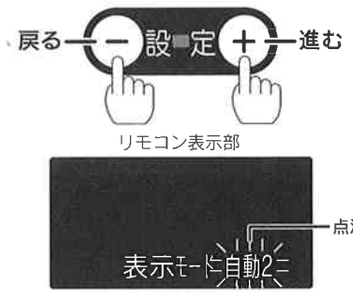
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを数回押して「表示モード」を表示させる



4 設定スイッチを押す



希望の表示モードに合わせます。
→**自動1**↔**自動2**↔**入**↔**切**← の順で変更されます。

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- ●工場出荷時は「**自動 1**」に設定しています。
- ●表示モードはリモコンごとに設定することができます。

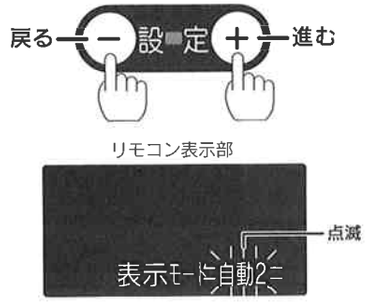
表示モード設定(サブリモコン)

1 選択スイッチを数回押して「表示モード」を表示させる



18ページ

2 設定スイッチを押す



希望の表示モードに合わせます。
→**自動1**↔**自動2**↔**入**↔**切**← の順で変更されます。

3 確定スイッチを押す



4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- ●工場出荷時は「**自動 1**」に設定しています。
- ●表示モードはリモコンごとに設定することができます。

ガイド音量設定(メインリモコン・ふろリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



18ページ

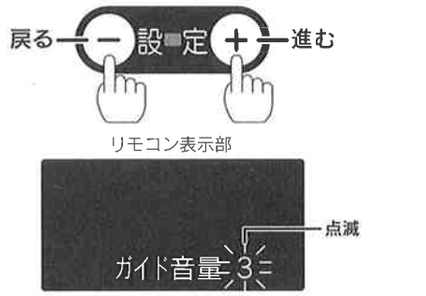
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを数回押して「ガイド音量」を表示させる



4 設定スイッチを押す



希望の音量に合わせます。
0 ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 の順で変更されます。
(切)(小)(中)(大)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、変更した音量で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

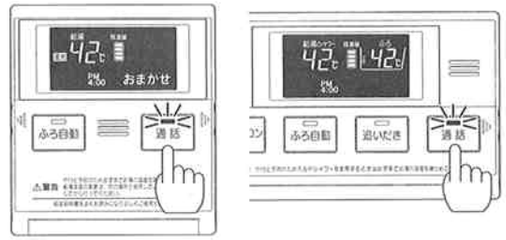
お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- メインリモコン、ふろリモコンのガイド音量は別々に設定することができます。
- ガイド音量を「0」に設定すると音声は消えますが、操作音(ピッ)は消えません。

インターホンの使いかた

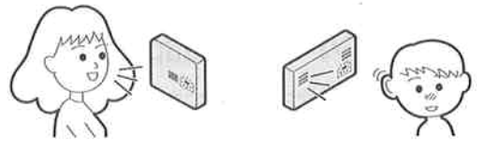
●メインリモコン、ふろリモコンのどちらからでも通話できます。

1 通話スイッチを押す



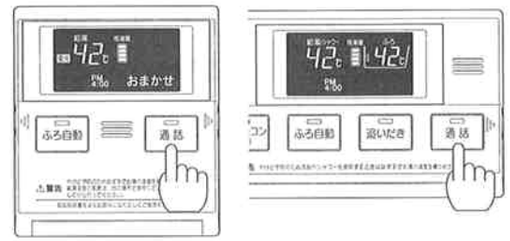
メインリモコンとふろリモコンの通話ランプが点灯して、呼び出し音が鳴ります。

2 通話できます



- 呼び出し音が鳴り終わってからゆっくりマイクに向かって話をすると、相手のリモコンで声が聞こえます。
- 通話ランプが点灯しているときに話ができます。
  通話ランプが点滅しているときは話を受けている状態です。このときに話しかけても相手には聞こえません。(同時に両方のリモコンから話すことはできません。)
  通話ランプが点灯にならない場合は通話スイッチを押しながら話してください。
- 通話スイッチを押しているリモコンの通話が優先されます。
- 通話スイッチを押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。
- メインリモコンで話をするときはマイクから約 20cm 離れて話してください。

3 通話終了



- 通話スイッチを押すと通話状態が終了します。
- 設定した通話時間が経過すると、自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。

52ページ

- 話さなかったり、音がしない状態が 1 分間続いた場合でも、自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。
- 自動的に通話状態を終了するときは、「**通話を終了します**」と音声でお知らせします。

⚠ 注意	リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しないでください。 大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。
お願い	メインリモコンとふろリモコンの設置場所が近い場合に、通話をするとハウリング(キーン等の大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡してリモコンの設置場所や向きを変更してください。

使用方法

お知らせ

- ●音声ガイドが流れているときは通話できません。
- ●通話スイッチを押した直後は、ふろリモコンからの通話モードになっています。
- ●話しはじめるときに音声が一瞬途切れることがあります。
- ●スイッチ操作などを行ったときに音声が途切れることがあります。
- ●音声が途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
- ●リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声が聞きとりにくいことがあります。
- ●両方が 30 秒間黙っていると自動的にメインリモコンの通話ランプが点滅になり、ふろリモコンの通話ランプが点灯になります。

インターホンの通話音量設定(メインリモコン・ふろリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



18 ページ

2 確定スイッチを押す

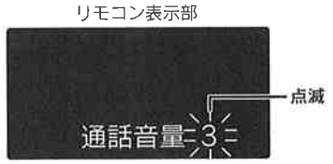


3 選択スイッチを数回押して「通話音量」を表示させる



4 設定スイッチを押す





希望の音量に合わせます。
1 ↔ 2 ↔ 3 の順で変更されます。
(小) (中) (大)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、変更した音量で「**変更されました**」とお知らせします。
メインリモコンは、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- ●工場出荷時は「2」に設定しています。
- ●メインリモコン、ふろリモコンのインターホンの通話音量は別々に設定することができます。

インターホンの通話方式について

- ●リモコンの通話方式には「**ハンズフリー方式(H)**」と「**プレストーク方式(P)**」があります。

ハンズフリー方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押すと、後は手を離した状態で通話できます。(48 ページの説明がハンズフリー方式での通話方法です。工場出荷時はこの方式に設定されています。)

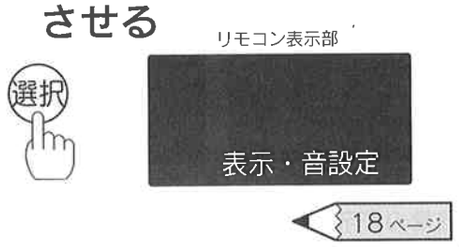
プレストーク方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押し、メインリモコンから浴室に話しかけるときにはメインリモコンの通話スイッチを押しながら話す方法です。浴室内の音を常時メインリモコンでモニターしていますので、ふろリモコンからは通話スイッチを押さなくても話ができます。

- ●ハンズフリー方式ではメインリモコンの周囲が騒々しいとふろリモコンの通話ランプが点滅して、ふろリモコンからの通話ができないことがあります。
- ●プレストーク方式ではメインリモコンの通話ランプは常に点灯していますが通話状態にはなりません。通話するときは通話スイッチを押しながら行ってください。

インターホンの通話方式設定(メインリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



18ページ

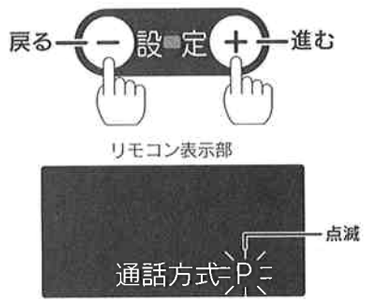
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを数回押して「通話方式」を表示させる



4 設定スイッチを押す



希望の設定に合わせます。

↳ H ⟷ P ↲ の順で変更されます。
(ハンズフリー) (プレストーク)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「**H**」に設定しています。

インターホンの通話終了時間設定(メインリモコン)

●通話を始めてから自動的に通話状態が終了するまでの時間を設定することができます。

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



18ページ

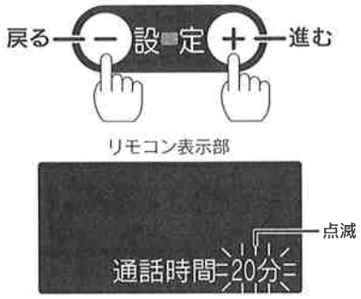
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを数回押して「通話時間」を表示させる



4 設定スイッチを押す



希望の時間に合わせます。
1 ↔ 5 ↔ 10 ↔ 20･･･60(分) の順で変更されます。

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「**30分**」に設定しています。

音声一覧（メインリモコンでの操作）

操作するスイッチ・条件など			メインリモコンから出る音声ガイド	ふろリモコンから出る音声ガイド
メインリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ(押す)	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
ふろリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ(押す)		変更できません 優先を確認してください	−
ふろ自動スイッチ(押す)			お湯はりをします	−
お湯はりが完了した			♪おふろが沸きました	−
ふろ予約スイッチ(押す)	現在時刻が設定ずみ		お湯はりが予約されました	−
	現在時刻が未設定		予約できません 時計を合わせてください	−
	ふろ自動運転中 高温たし湯運転中 たし湯運転中 さし水運転中		受付できません　確認してください	−
おまかせスイッチ(押す)			変更されました	−
操作を誤ったとき			受付できません　確認してください	−

♪はメロディーが鳴ることを表しています。

音声一覧（ふろリモコンでの操作）

操作するスイッチ・条件など			ふろリモコンから出る音声ガイド	メインリモコンから出る音声ガイド
ふろリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ(押す)	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
	優先スイッチ「切」にする	メインリモコンが55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		メインリモコンが50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
メインリモコンが優先のとき	給湯温度調節スイッチ(押す)		変更できません 優先を確認してください	−
	優先スイッチ「入」にする	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯がでます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		50℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
ふろ自動スイッチ(押す)			お湯はりをします	−
お湯はりが完了した			−	♪おふろが沸きました
ふろ温度調節スイッチ(押す)			変更されました	−
追いだきスイッチ(押す)	追いだき可能		追いだきをします	−
	追いだき不可能 (残湯温度低下)		お湯が少なくなりました 追いだきできません	−
水位スイッチ(押す)			変更されました	−
高温たし湯スイッチ(押す)			あついお湯がでます	−
たし湯スイッチ(押す)			たし湯をします	−
さし水スイッチ(押す)			さし水をします	−
配管洗浄スイッチ(押す)			−	−
操作を誤ったとき			受付できません　確認してください	−

♪はメロディーが鳴ることを表しています。

使用上の注意

⚠警告

1 やけどに注意

給湯じゃ口を開くと、熱湯が吹き出ることがあります。やけどに注意してください。

⚠注意

2 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。 60ページ

3 感電に注意

漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。また操作部のふたを開いたままにしないでください。雨水やホコリ等が入り、ショート・感電・漏電の原因になります。

4 機器内の水について

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、水質が変わることがあります。
飲用、または調理に使用しないでください。

5 日常の点検・手入れを行う 61~63ページ

停電したとき

- 約６時間以内の停電であれば、停電後も現在時刻や設定温度は記憶していますが、現在時刻や設定温度が合っていない場合は設定し直してください。
- 夜間時間帯に停電した場合は、翌朝までに沸き上がらない場合があります。

地震などの被害があったとき

- 機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

長期間使用しない場合

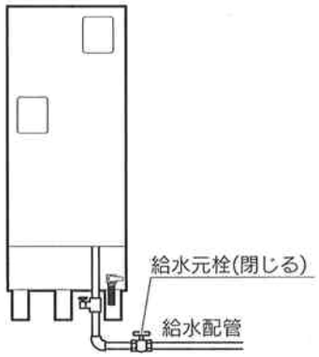
- １カ月以上使用しない場合は、以下の手順に従って水抜きを行ってください。
- １カ月以内の短期間の場合は、給水元栓を閉じ、漏電遮断器のレバーを「OFF」にしてください。ただし、冬期に凍結のおそれがある場合は以下の手順に従って水抜きを行うか、水抜きをしないで漏電遮断器のレバーを「ON」にしておいてください。

⚠警告	排水時は配管や排水に手を触れないでください。熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますのでやけどに注意してください。
⚠注意	熱湯は冷めてから排水してください。

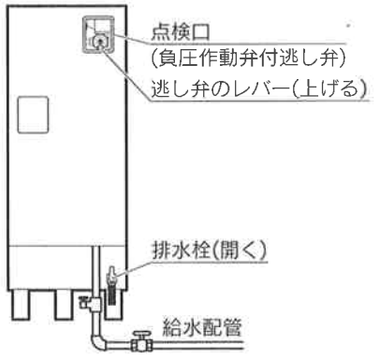
1. 貯湯ユニットの水抜き

- 貯湯ユニット内の水を抜く場合は販売店にご相談ください。

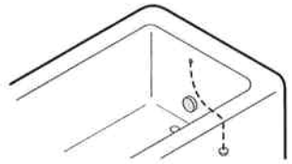
1 給水元栓を閉じる



2 排水栓を開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる



3 浴そうの排水栓を抜く



4 ふろリモコンのふろリモコン入/切スイッチを「入」にする



使用方法

5 配管洗浄スイッチを「入」にする



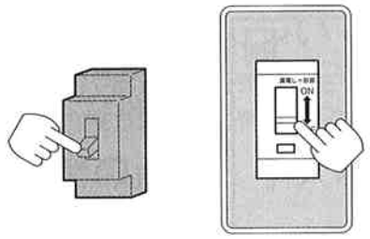
配管洗浄スイッチを押して、配管内の水を出します。

6 ふろリモコン入 / 切スイッチを「切」にする

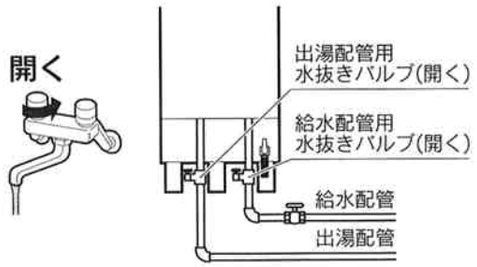


循環口から水が出なくなったら、ふろリモコン入 / 切スイッチを「**切**」にします。

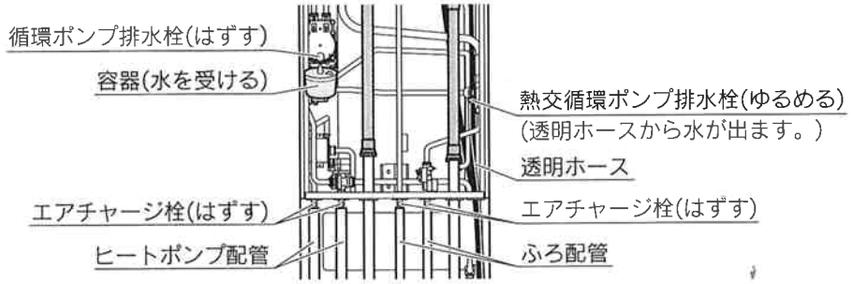
7 200V 電源ブレーカを「切」にし、漏電遮断器のレバーを「OFF」にする



8 給湯じゃ口、各水抜きバルブを開く



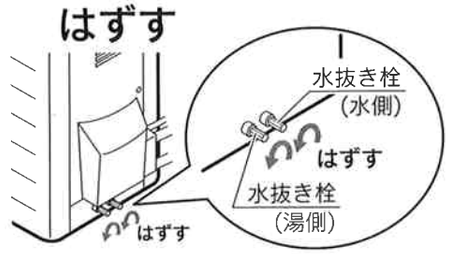
9 ・熱交循環ポンプ排水栓をゆるめて水を抜く
・循環ポンプ排水栓、エアチャージ栓(4 カ所)をはずして水を抜く



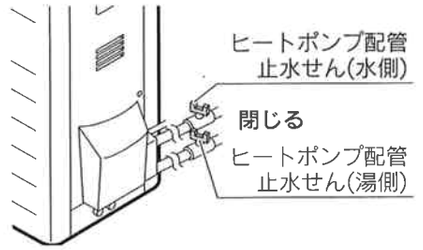
循環ポンプ排水栓をはずすと、水が出ますので容器等で受けてください。

2. ヒートポンプユニットの水抜き

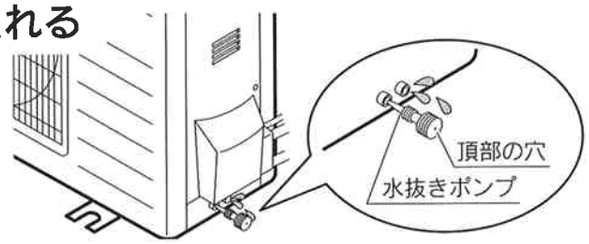
1 ヒートポンプユニットの水抜き栓(2 カ所)をはずす



2 ヒートポンプ配管止水せん(2 カ所)を閉じる

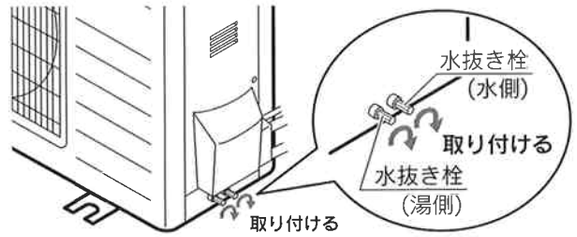


3 左側の水抜き栓(湯側)の穴に、付属の水抜きポンプを差し込み空気を入れる



水抜きポンプ頂部の穴を手のひらで押さえながら空気を押し込みます。
右側の水抜き栓(水側)の穴から水、またはお湯が出なくなるまで約 10 回程度繰り返します。

4 排水終了後ヒートポンプユニットの水抜き栓(2 カ所)を取り付ける



お知らせ

- 水抜きが終了したら逃し弁のレバーを下げ、排水栓、各水抜きバルブ、熱交循環ポンプ排水栓を閉じ、循環ポンプ排水栓、エアチャージ栓(4 カ所)を取り付けてください。
- 付属の水抜きポンプは使用後、必ず保管してください。
- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんので、必ず充分に保温してください。
- 再度使用する場合は「**使用前の準備**」「**使用方法**」に従って使用してください。 21~55 ページ

使用方法

災害時などにお湯を取り出す

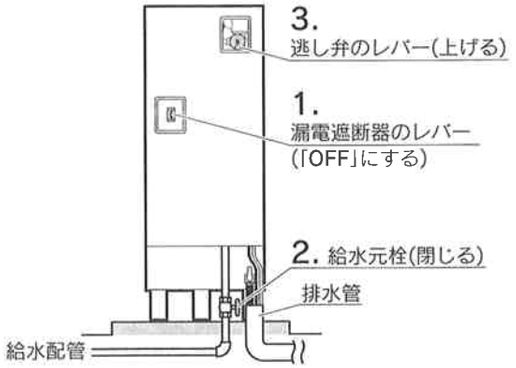
断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

⚠警告 お湯が冷めてから取水してください。
熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

1 操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、ふたを閉じる

2 貯湯ユニットの給水元栓を閉じる

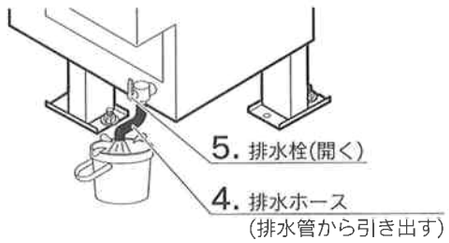
3 点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる



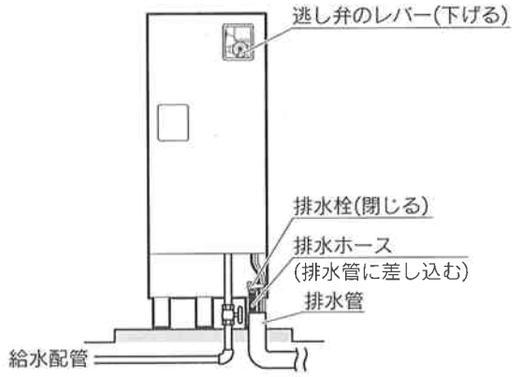
4 排水ホースを排水管から引き出す

5 排水栓を開く

貯湯タンクのお湯(水)をバケツなどで受けて取り出します。
出始めに湯あかやゴミが出ることがあります。



取水が終わったら、
排水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げて点検口のふたを閉じ、排水ホースを排水管に差し込んでください。



再度使用するときは

逃し弁のレバーが下がり、排水栓が閉じていること、排水ホースが排水管に差し込んであることを確認してから「**使用前の準備**」「**使用方法**」に従って使用してください。

21～55ページ

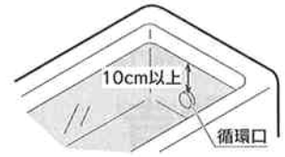
凍結予防

- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。必ず配管の保温工事を行い、冬期には充分注意してください。
- 凍結のおそれのある地域では配管やバルブ類に市販の凍結予防ヒータで充分な保温工事を行ってください。
- 寒冷地ではユニット間の配管に厚さ 20mm 以上の保温材を使用してください。
- ふろ配管の凍結予防をするために、ふろ配管も必ず保温してください。
- 凍結が予測される場合は浴そうの水を抜かないでください。
- 万が一凍結した場合は、溶けるまで使用しないでください。

1 凍結予防装置による方法(自動)

浴そうの水位の確認

必ず循環口より**約 10cm 以上**給水してください。
浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。



2 水を抜く方法

「**長期間使用しない場合**」に従って水を抜いてください。

56～58ページ

⚠注意 冬期に水抜きをしない場合は、漏電遮断器のレバーを「OFF」にしないでください。
配管が凍結して破損し、水漏れするおそれがあります。

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
漏電遮断器	万一漏電したときに自動的に電源を切ります。	お買い求めの販売店にご連絡ください。
温度過昇防止器	制御基板の故障などにより、機器が異常に過熱したときに作動してヒートポンプユニットの電源を切ります。 エラーコード「H14」を表示してお知らせします。65ページ	200V 電源ブレーカと漏電遮断器のレバーを「OFF」にして、お買い求めの販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 点検・手入れは漏電遮断器のレバーを「OFF」にしてから行ってください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

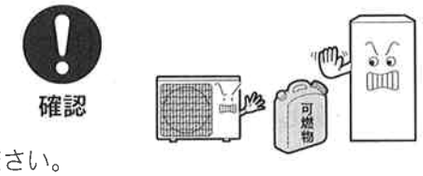
点検・手入れの時期、必要項目、方法

毎日

周囲の可燃物

⚠ 警告

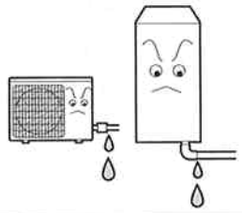
機器の周囲に可燃物や、危険物がないことを確認してください。



水漏れ

⚠ 注意

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。
ただし、沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ます。

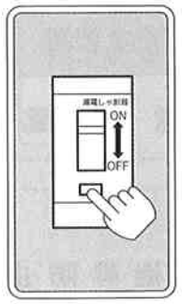


1カ月に1回以上

漏電遮断器の作動確認

⚠ 警告

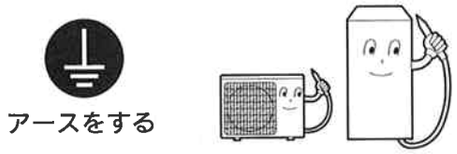
200V電源の通電時間中に行ってください。
(1)アースが接続されていることを確認します。
(2)操作部のふたを開きます。
(3)漏電遮断器のテストボタンを押します。
「ON」になっている漏電遮断器のレバーが「OFF」になると正常です。
(4)正常であれば漏電遮断器のレバーを「ON」にして、操作部のふたを閉じます。



アースの確認

⚠ 警告

アース線が途中で切れていないか確認してください。



逃し弁の確認

⚠ 警告

逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。
また、レバーを急に上げると熱湯が吹き出ることがありますので、ゆっくり操作してください。

(1)点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開きます。
(2)逃し弁のレバーをゆっくり上げて逃し弁の排水ホースから水が出ることを確認します。
(3)レバーを下げて、水が止まることを確認します。
(4)レバーの上げ下げを数回繰り返して、水アカやゴミを流します。
(5)点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを閉じます。



1年に1回以上

貯湯タンクのお手入れ

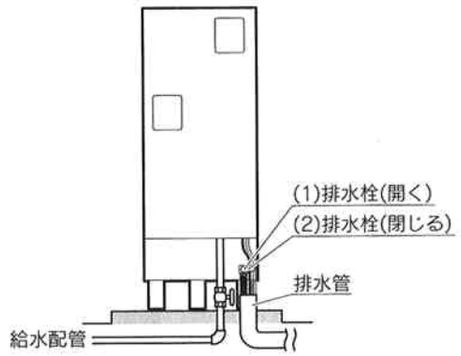
⚠ 警告

排水時は配管や排水に手を触れないでください。熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますのでやけどに注意してください。

⚠ 注意

熱湯は冷めてから排水してください。

(1)排水栓を開いて1～2分間排水します。
(2)排水がきれいになったら排水栓を閉じます。



日常の点検・手入れ

減圧逆止弁の水フィルタの点検

減圧逆止弁の水フィルタにゴミが詰まると水が出にくくなりますので、販売店に点検を依頼してください。

定期点検

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要となります。
通常１年に１回程度はお買い求めの販売店で点検を受けることをお奨めします。
（定期点検は有料です。）

故障・異常の見分けかたと処置方法

サービスを依頼される前に

●次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現　象	説　明
お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓を閉じていませんか。 ●凍結していませんか。
お湯が沸かない	●漏電遮断器のレバーが「OFF」になっていませんか。
お湯がぬるい お湯が足りない	●お湯を使いすぎていませんか。 シャワーを使うときや、洗いものをするときはお湯をこまめに止めてください。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●逃し弁のゴミかみにより水が漏れていませんか。 62ページ ●排水栓が開いていませんか。 ●給湯設定温度・沸き上げモードは適切ですか。 ●沸き上げ中にお湯を使用していませんか。 ●追いだき運転を頻繁にしていませんか。 ●残り湯で追いだき運転をしていませんか。
汚れたお湯が出る	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。 ●貯湯タンクのお手入れをしていますか。 62ページ

現　象	説　明
お湯が白く見える	●水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。
逃し弁から水が出る	●沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ますが、異常ではありません。
夜間時間帯になっても沸き上げ運転を始めない	●通電制御型のエコキュートは水温と残湯量によってはすぐに沸き上げ運転しないことがあります。翌朝沸き上がっていれば正常です。
夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●昼間の残湯があるときは、夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がることがあります。
沸き上げモードの設定が「**おまかせ運転**」、「**標準**」または「**少なめ**」で湯切れした	●「**おまかせ運転**」設定では過去３日間のお湯の使用量からマイコンが湯量を設定します。来客で多量のお湯を使用するなど、使用量が不規則なときは湯切れすることがあります。また「**標準**」、「**少なめ**」設定では、冬期やお湯の使用量が多いときは、湯量不足になることがあります。このようなときは「**連続**」に設定して、しばらくお待ちください。
寒いとき貯湯ユニット内部の沸き上げポンプ・循環ポンプが動く音がする	●屋外温度が約６℃以下の場合、凍結予防のために沸き上げポンプ・循環ポンプが自動的に作動し、ユニット間のお湯が循環します。異常ではありません。
断水のときお湯が出ない	●断水のときは貯湯ユニットに給水されないためお湯が出ません。下記の処置を行ってください。 1. 貯湯ユニットの漏電遮断器のレバーを「OFF」にする。 2. 貯湯ユニットの給水元栓を閉じる。 ●再び使用するときは給水じゃ口から汚れた水が出ないことを確認して貯湯ユニットの給水元栓を開き、給湯じゃ口からお湯(水)が出ることを確認し、漏電遮断器のレバーを「ON」にしてください。
お湯から油が出る お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
沸き上げ中にヒートポンプユニットが霜で白くなる	●冬期運転中は霜がつくことがあります。
ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	●ヒートポンプユニットについた霜を取り除くと、水や湯気となり出てきます。
沸き上げ中にヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	●ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。
沸き上げ停止中にヒートポンプユニットのファンが回る	**沸き上げが停止した直後** ●保護のため約１分間はヒートポンプユニットのファンが回ります。 **沸き上げが停止しているとき** ●真夏など外気温度が高いときは保護のためにヒートポンプユニットのファンが回ることがあります。
沸き上げが停止した	●電圧が急に大きく変動した場合は保護のために停止することがあります。約３分後に自動的に運転を再開します。

故障・異常の見分けかたと処置方法

エラーコード(警報)表示

エラーコード(警報)はリモコンのドット表示部に表示されます。
エラーコードが表示された場合は以下の処置を行ってください。

■貯湯ユニット

注 ･･･残湯量サーミスタの(　)はET-4642GPXHの場合です。

	エラーコード	原　因	確認・処置
	740	メインリモコン通信異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
	750	ふろリモコン通信異常	
※1	760	リモコン通信異常	
※1	E16	給湯高温検知	断水しませんでしたか。
※1	E31	給湯サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※1	E65	給湯混合弁異常	
※2	F00	初回残り湯検知	浴そうの水をいったん全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。
※2	F03	お湯はり時間超過	排水栓が抜けていませんか。お湯はり中に断水しませんでしたか。
※2	F16	お湯はり高温検知	お湯はり中に断水しませんでしたか。
※2	F25	水流スイッチ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※2	F31	お湯はりサーミスタ異常	
※2	F32	ふろサーミスタ異常	
※2	F43	水位センサ異常	
※2	F45	熱交循環ポンプ異常	
※2	F56	お湯はり異常	お湯はり中に断水しませんでしたか。
※2	F63	ふろ循環異常	排水栓が抜けていませんか。
※2	F65	お湯はり混合弁異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※3	H14	温度過昇防止器作動	
※2	H30	缶体上サーミスタ異常	
※4	H31	残湯量サーミスタ50L異常	
※4	H32	残湯量サーミスタ100L(150L)異常 注	
※4	H33	残湯量サーミスタ200L(250L)異常 注	
※4	H34	給水サーミスタ異常	
※4	H35	湯とりサーミスタ異常	
※1	H54	湯とり三方弁異常	
※1	U45	沸き上げポンプ異常	
※1	U54	三方弁異常	
※5	U76	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間通信異常	

■ヒートポンプユニット

	エラーコード	原　因
	E3	高圧圧力異常による停止
	E6	圧縮機起動不良
	E7	室外ファンロック
	E8	入力過電流検出による停止
	EC	出湯温度系異常による停止
	F3	吐出管制御による停止
	FA	ピークカット異常による停止
	H3	高圧圧力スイッチ系による停止
	H6	位置検出センサ不良による停止
	H8	CT系異常検出による停止
※4	H9	外気サーミスタ異常
※4	HC	出湯サーミスタ異常
	HJ	循環水系統不良

	エラーコード	原　因
	J3	吐出管温度サーミスタ異常
※4	J6	熱交温度サーミスタ異常
※4	J8	入水サーミスタ異常
	L5	出力過電流検出による停止
※4	P4	放熱フィンサーミスタ系異常
※5	U0	ガス欠検出による停止
※5	U4	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間通信異常
	UF	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間誤配管検出

リセット(警報解除)の方法

※1印のエラーコード(警報)はリモコンのふたを開き、確定スイッチを10秒間押し続けることでリセットできます。リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
※2印のエラーコード(警報)はふろリモコンのふろリモコン入/切スイッチを「**切**」にする、またはリモコンのふたを開き、確定スイッチを10秒間押し続けることでリセットできます。
リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
※3印のエラーコード(警報)は手動復帰させる必要があります。
お買い求めの販売店にご連絡ください。
※4印のエラーコード(警報)は正常温度検出で自動復帰します。
※5印のエラーコード(警報)は正常動作で自動復帰します。
その他のエラーコード(警報)は以下に従ってリセットしてください。
■**貯湯ユニットの場合**･･･貯湯ユニットの制御基板上のリセットスイッチを押すことでリセットできますが、感電のおそれがあり危険です。
お客様自身では行わずお買い求めの販売店にご連絡ください。
■**ヒートポンプユニットの場合**･･･漏電遮断器のレバーを3秒以上「OFF」にした後、再度「ON」にします。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

●部品は必ず**長府自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機純正部品(指定された部品)**を使用してください。
●故障したままで使用しないでください。
●故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕　様

形名		EHP-3732GPXH EHP-3732GPXHE2 [耐重塩害仕様]		EHP-3742GPXH EHP-3742GPXHE2 [耐重塩害仕様]	
		貯湯ユニット	ヒートポンプユニット	貯湯ユニット	ヒートポンプユニット
		ET-3732GPXH	EHPE-454	ET-37342GPXH	EHPE-454
		ET-3732GPXHE2 [耐重塩害仕様]	EHPE-454E2 [耐重塩害仕様]	ET-3742GPXHE2 [耐重塩害仕様]	EHPE-454E2 [耐重塩害仕様]
種類		自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機			
適用電力制度		時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型（マイコン型）			
機能		高圧力型フルオートタイプ			
設置場所		屋外(防雨)/屋内兼用型	屋外型	屋外(防雨)/屋内兼用型	屋外型
電源		単相200V　50/60Hz（制御電源含む）			
貯湯タンク容量		370L			
貯湯タンク材質		特殊ステンレス鋼板			
定格加熱能力		4.5kW			
定格消費電力		1.11kW			
冬期高温加熱能力		4.5kW			
冬期高温消費電力		1.53kW			
ふろ保温消費電力	熱交循環ポンプ	12W			
	循環ポンプ	80/105W			
定格運転電流		6.2A			
最大運転電流		17A			
沸き上げ温度		「連続」「多め」「標準」：約75℃～85℃ 「少なめ」：約65℃ 「おまかせ」：約65℃～90℃			
外形寸法		高さ　2205mm 幅　560mm 奥行　670mm	高さ　735mm 幅　825(+74)mm 奥行　300mm	高さ　1895mm 幅　630mm 奥行　730mm	高さ　735mm 幅　825(+74)mm 奥行　300mm
質量（満水時）		85kg(455kg)	65kg	76kg(446kg)	65kg
騒音値		36dB(A)	38dB(A)	36dB(A)	38dB(A)
水側最高使用圧力		190kPa (1.9kgf/cm²)	－	190kPa (1.9kgf/cm²)	－
冷媒名		－	R744(CO_2)	－	R744(CO_2)
運転範囲		－10℃～43℃			
電流ヒューズ		ヒューズ250V　5A　　沸き上げポンプ用ヒューズ250V　3A			
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器			
付属品		取扱説明書、工事説明書、保証書、水抜きポンプ、ドレンソケット			

●運転特性は日本冷凍空調工業会標準規格(JRA 4050)に基づいた数値です。
●この仕様数値は50Hz/60Hz共通です。
●製品改良のため仕様の一部を予告なしに変更することがあります。
●停止しているときも、夏期：約4W、冬期：約12W、その他の時期：約4～12Wの電力を消費します。
外気温度が約10℃以下のときは、凍結予防または自動的にヒートポンプユニットを暖めるために、さらに30Wの電力を消費することがあります。

形名		EHP-4642GPXH	
		貯湯ユニット	ヒートポンプユニット
		ET-4642GPXH	EHPE-561
種類		自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機	
適用電力制度		時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型（マイコン型）	
機能		高圧力型フルオートタイプ	
設置場所		屋外(防雨)/屋内兼用型	屋外型
電源		単相200V　50/60Hz（制御電源含む）	
貯湯タンク容量		460L	
貯湯タンク材質		特殊ステンレス鋼板	
定格加熱能力		5.6kW	
定格消費電力		1.42kW	
冬期高温加熱能力		5.6kW	
冬期高温消費電力		1.92kW	
ふろ保温消費電力	熱交循環ポンプ	12W	
	循環ポンプ	80/105W	
定格運転電流		8.0A	
最大運転電流		21A	
沸き上げ温度		「連続」「多め」「標準」：約75℃～85℃ 「少なめ」：約65℃ 「おまかせ」：約65℃～90℃	
外形寸法		高さ　2205mm 幅　630mm 奥行　730mm	高さ　735mm 幅　825(+74)mm 奥行　300mm
質量（満水時）		89kg(549kg)	70kg
騒音値		36dB(A)	40dB(A)
水側最高使用圧力		190kPa (1.9kgf/cm²)	－
冷媒名		－	R744(CO_2)
運転範囲		－10℃～43℃	
電流ヒューズ		ヒューズ250V　5A 沸き上げポンプ用ヒューズ250V　3A	
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器	
付属品		取扱説明書、工事説明書、保証書 水抜きポンプ、ドレンソケット	

●運転特性は日本冷凍空調工業会標準規格(JRA 4050)に基づいた数値です。
●この仕様数値は50Hz/60Hz共通です。
●製品改良のため仕様の一部を予告なしに変更することがあります。
●停止しているときも、夏期：約4W、冬期：約12W、その他の時期：約4～12Wの電力を消費します。
外気温度が約10℃以下のときは、凍結予防または自動的にヒートポンプユニットを暖めるために、さらに30Wの電力を消費することがあります。

アフターサービス

サービスを依頼されるときは

サービスを依頼される前に63～66ページの「**故障・異常の見分けかたと処置方法**」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品　名……長府自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機
2. 形　名……EHP-3732GPXH・EHP-3742GPXH・EHP-4642GPXH
   EHP-3732GPXHE2・EHP-3742GPXHE2
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

●転居される場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
●移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています

●正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より機器本体は1年間、貯湯タンクは5年間、冷媒回路は3年間無料で修理いたします。
お買い求めの販売店にご相談ください。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
●家庭用の給湯以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
●凍結やスケール(石灰づまり)による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の最低保有期間

自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後9年です

●性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

設置工事後の確認と試運転

設置工事後の確認

1 設置場所
機器の設置場所は機器の満水時の重量に耐え、倒れたりしないようにアンカーボルトで固定されていますか。

2 排水工事
確実に排水処理されていますか。
万一漏れても、漏れた水が排水溝に確実に導かれるようにしてください。

3 アース工事
アース工事は確実に行われていますか。(D種接地工事)

4 配管工事
配管はすべて保温されていますか。
寒冷地では市販の凍結予防ヒータによる保温工事も必要です。
また機器の給水元栓の位置も確認してください。
水漏れ故障の際には給水元栓を閉じると水は止まります。

試運転(試運転はお買い求めの販売店とご一緒に必ず確認してください。)

1 貯湯タンクを満水にして、ヒートポンプユニットの空気抜きを行う
21ページ

2 電力供給の確認
(1)操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「ON」にします。
(2)漏電遮断器のテストボタンを押してレバーが「OFF」になるか確認します。
61ページ

3 漏電遮断器のレバーを「ON」にする
漏電遮断器のレバーを「ON」にしてふたを閉じます。
すぐに使用されない場合は「**長期間使用しない場合**」を参照してください。
56～58ページ

4 メインリモコンで契約電力制度を設定する
19・20ページ

5 メインリモコンで現在時刻を設定する
22ページ

6 ふろリモコンで自動お湯はりを設定する
初回の自動お湯はりは貯湯タンク内が水の場合、そのまま水で行います。
浴そうが空であることを確認してから、お湯はりを行ってください。
31・32ページ

7 沸き上げを確認する
(1)メインリモコンの沸き増しスイッチを押してください。沸き上げを開始します。
(2)ヒートポンプ配管(湯側)の配管温度を確認します。
(数分後、ヒートポンプユニット側の接続部付近、貯湯ユニット側の接続部付近が熱くなっていれば正常です。)
(3)メインリモコンの沸き増しスイッチを押してください。沸き上げを停止します。
(4)早くお湯を使用したいときは沸き上げモードを「**連続**」に設定してください。
24・28ページ